

第六章

スポーツ交流人口の把握 及び経済効果の算出

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

①実施概要

◆キャンプ・合宿実施チームへのアンケート調査及び来訪者アンケート調査の実施

スポーツキャンプ・合宿の受入に際する経済効果算出のため、うるま市にて受入を行なったチーム及び団体に対してアンケート調査並びにヒアリング調査（メール・電話等）の実施、および阪神タイガース（ファーム）キャンプにおける来訪者に対するアンケート調査を実施した。

また、阪神タイガース（ファーム）キャンプにおいては、期間中スタッフを配置し来訪者数のカウントも実施した。

ー調査内容ー

- ①スポーツキャンプ・合宿実施チーム・団体
- ②阪神タイガース（ファーム）キャンプ来訪者

②調査概要【キャンプ・合宿実施チーム・団体アンケート調査結果】

・実施方法

アンケート調査、メール・電話等によるヒアリング調査

・対象

- 10団体（回答者：チーム引率者・監督等）
 - 【野球】阪神タイガース（ファーム）
 - 【野球】SAMSUNG LIONS（ファーム）
 - 【野球】kt wiz
 - 【野球】起亜タイガース
 - 【野球】名古屋経済大学
 - 【野球】高校交流野球
 - 【サッカー】栃木SC
 - 【サッカー】神奈川大学
 - 【陸上】NTN陸上競技部
 - 【バドミントン】北海道コンサドーレ札幌

※SSGランダース（野球）は、チームからアンケート回答が得られなかったため調査の対象外とした

・主な調査内容

- ①スポーツ合宿にかかわる消費額（全体・個人）
- ②スポーツ合宿における総合評価
- ③スポーツ合宿に対する意見・要望

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 阪神タイガース（ファーム）

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	株式会社阪神タイガース			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025.1.31	終了日 (年/月/日)	2025. 2.25

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	アンサ沖縄リゾートホテル（3/1からANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまビル）		
選手人数	35 人	監督等人数	45 人 (例：オーナー・GM・監督・コーチ)
	総額	延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	2,700万 円	1,960	人
昼食費	700万 円	1,960	人
夕食費	1,000万 円	1,800	人

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	琉球バス	○	350万 円	2 台
自主トレ交通費		○	円	台
レンタカー	オリックスレンタカー	×	240万 円	8 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額		1,780万		円
球場整備費等	事業名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用	
	セイカスポーツ (球場・ドーム・体育館使用料)	○	700万	円
	ニッケン・リース (プレハブ設置)	×	400万	円
	阪神園芸 (球場整備派遣)	×	680万	円
				円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 阪神タイガース（ファーム）

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
オートランドリー タカノ	×	500万 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	昨年のブルベン新設に続き、サブグラウンドの2面化と走路の改修工事・防球ネットの修復や嵩上げ、ブルベンLED照明の増設、トレーニングルームのドーム内新設など、施設・設備面での強化にご尽力頂いている。
受け入れ対応	3	球場の装飾など、歓迎ムードが高まっている。「うるま市阪神タイガース協力会」が立ち上がることを期待する。
宿泊施設	3	トレーニングルーム、大浴場へのアクセスが良い。個室の浴槽の排水が悪く不衛生。ホテル内に売店を設置してほしい。
食事	3	初年度と比較すると大幅な改善が見られるものの、品数やボリュームなどの更なる見直しが必要。
交通アクセス	4	ホテルから球場までの所要時間は約25分（高速利用はなし）渋滞の発生率も低い。
周辺環境	2	ホテル周辺にはコンビニや飲食店がない。隣接しているゴルフ場の利用について、検討していきたい。

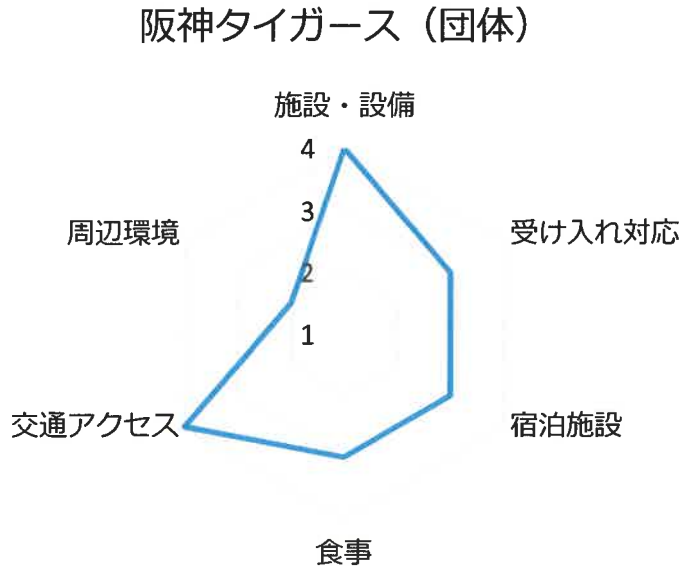
⑦ ご意見・ご要望等

- ・2026年キャンプ迄に、倉庫の新設
- ・球場内諸室のリニューアル
- ・1塁、3塁のベンチの改修
- ・外野のフェンス下とファールゾーンフェンス下の側溝がコンクリート剥き出しのため危険、改修を要望

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 阪神タイガース（ファーム）

【総合評価】



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	4
受け入れ対応	3
宿泊施設	3
食事	3
交通アクセス	4
周辺環境	2

（総評・コメント）

- 「施設・設備」に関して、毎年度に改善や更新を図っていることから、グラウンド・サブグラウンドのみならず、トレーニングルームの設備等も含めて充実度が高まっている点への評価が高い。
- 一方、宿泊施設の周辺環境ではコンビニ等のお店がない点が低い評価となっている。また、次年度以降は、宿泊施設に隣接しているゴルフ場の利用を検討したいとの要望がある。
- 宿泊施設における食事面においては改善が見られる一方で、料理のバリエーションやボリュームに対する更なる改善希望が出ている。キャンプ期間が約1ヶ月あることから、食事提供への工夫が今後も継続的に求められてくる。
- 全体的な今後の要望として、「倉庫の新設」、「球場内の諸室リニューアル」のほか、「1塁・3塁のベンチ及び外野フェンス下・ファールゾーンフェンス下の側溝改修」が出ており、練習時の怪我等が懸念される側溝の改修においては早急な検討と対応が必要となる。
- 「受け入れ対応」に関して、市内での歓迎ムードが高まっていることに評価をいただいている。今後より受け入れ体制の強化を図るためにも、「うるま市阪神タイガース協力会」の立ち上げに期待する声が挙がっている。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ SAMSUNG LIONS（ファーム）

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	SAMSUNG LIONS			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/2/1	終了日 (年/月/日)	2025/2/22

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	ココガーデンリゾート			
選手人数	52	人	監督等人数	20人 (例：オーナー・GM・監督・コーチ)
	総額		延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	18,076,817	円	1408	人
昼食費	3,082,750	円	1121	人
夕食費	4,559,544	円	912	人

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	東陽バス	○	2,090,000 円	21 台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	トヨタレンタカー	×	1,405,800 円	6 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額	519,800 円		
	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
球場整備費等	グッドワンプラス	○	165,000 円
	砂辺テント	○	1,848,000 円
	タバタ	○	3,109,150 円
	KEI LINER	○	2,144,725 円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ SAMSUNG LIONS（ファーム）

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
グッドワンプラス	○	2,887,170 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	借用決定時より、球場の状態を把握していたため（2024年よりグラウンドの状況は良くなっています）
受け入れ対応	4	同上、現場職員の方にできる限りの協力はしていただきました。
宿泊施設	4	可能な範囲で対応していただきました
食事	4	選手、スタッフともに満足していました。
交通アクセス	3	タクシーの利用頻度が高くなります。（タクシーの不足が深刻です）
周辺環境	4	徒歩圏内に、必要な施設が揃っているので問題ありません

⑦ ご意見・ご要望等

--

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ SAMSUNG LIONS（ファーム）

【選手・職員の方向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	SAMSUNG LIONS			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/2/1	終了日 (年/月/)	2025/2/22

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費	
朝食費		円		円
昼食費	1,000,000	円	800,000	円
夕食費	7,500,000	円	6,500,000	円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
交通費	800,000	円	700,000	円	石川タクシー

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
娯楽費	10,000,000	円	8,000,000	円	P-TIME 石川

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
買物費 土産購入費	8,000,000	円	4,000,000	円	イオン具志川

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価(最小評価1～最大評価5)

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	
受け入れ対応	3	
宿泊施設	4	
食事	4	
交通アクセス	3	
周辺環境	4	

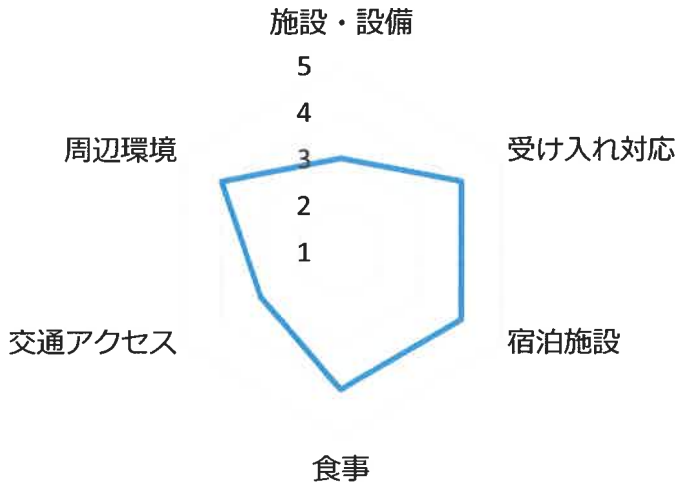
⑥ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ SAMSUNG LIONS（ファーム）

【総合評価】

SAMSUNG LIONS（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	3
受け入れ対応	4
宿泊施設	4
食事	4
交通アクセス	3
周辺環境	4

（総評・コメント）

- ・ レンタカー（車）以外は、全てうるま市外の事業者利用であり、レンタカーの手配に関しては現状市内の対応は厳しい状況にある。
- ・ 市内の移動手段としてタクシーも利用しているが台数が限られており、必要なタイミングでの手配が難しく、タクシー不足に懸念あり。
- ・ 宿泊施設やその受け入れ、また周辺環境においては不自由なく、チームとしての満足度は高い評価を得られている。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ Kt wiz

【団体様向け】 2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	Kt wiz			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/2/24	終了日 (年/月/日)	2024/3/6

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	ANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまヒルズ
-----	------------------------

選手人数	人	監督等人数	3人	(例：オーナー・GM・監督・コーチ)
------	---	-------	----	--------------------

	総額	延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	386,100円	27人	(例)ワイズリゾート琉球（うるま市石川）
昼食費	1,478,400円	448人	
夕食費	円	人	

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	東陽バス	○	1,980,000円	20台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	トヨタレンタカー	×	1,600,990円	8台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額		106,850	円
球場整備費等	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
	砂辺テント	○	277,200 円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ Kt wiz

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
グッドワンプラス	○	1,342,440 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	メイン球場の内野グラウンドの状態良
受け入れ対応	4	同上、現場職員の方にできる限りの協力はしていただきました。
宿泊施設	3	
食事	4	選手、スタッフともに満足していました。
交通アクセス	3	他チームとの試合会場へのアクセスが良
周辺環境	4	徒歩圏内に、必要な施設が揃っているので問題ありません

⑦ ご意見・ご要望等

メイン球場の外野の芝を刈る頻度を増やしていただけると助かります

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ Kt wiz

【選手・職員の方へ】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	Kt wiz			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/2/24	終了日 (年/月/)	2024/3/6

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額	
	(総額)	内、うるま市内での消費
朝食費	円	円
昼食費	円	円
夕食費	5,000,000 円	3,000,000 円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
交通費	円	円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
娯楽費	5,000,000 円	4,000,000 円	P-TIME

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
買物費 土産購入費	5,000,000 円	2,500,000 円	イオン興志川

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価(最小評価1～最大評価5)

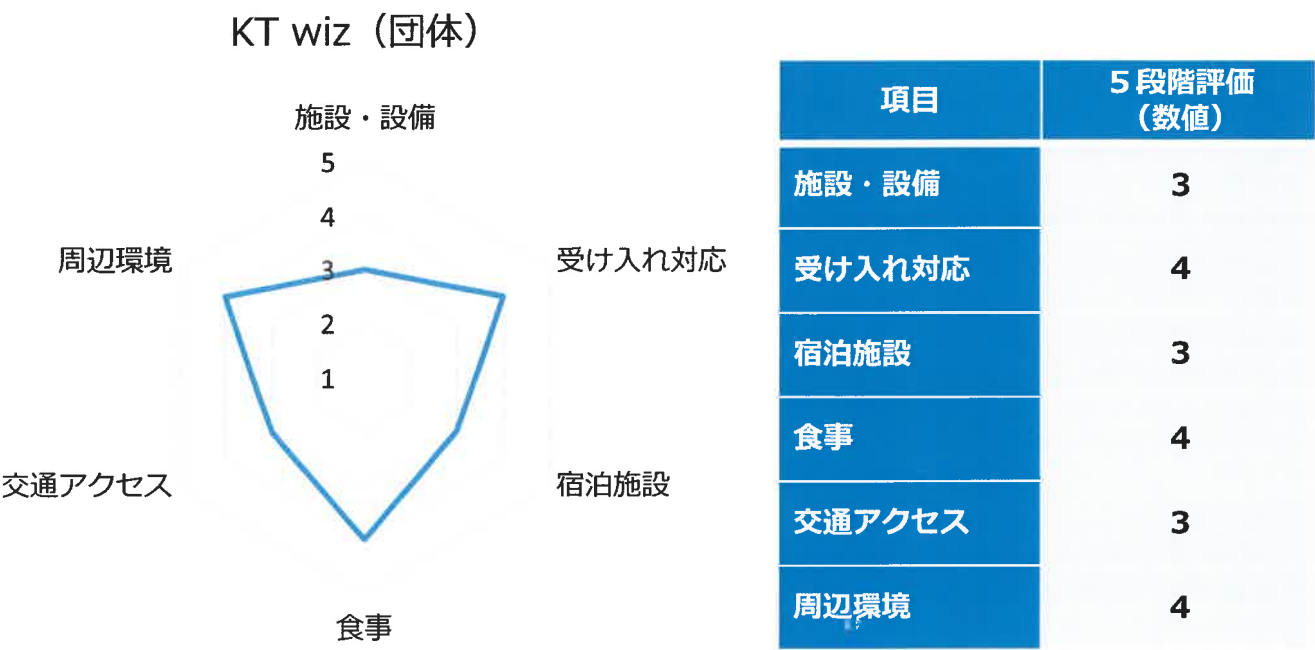
項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備		
受け入れ対応		
宿泊施設		
食事		
交通アクセス		
周辺環境		

⑥ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ Kt wiz

【総合評価】



(総評・コメント)

- 石川球場の施設状態に関して、内野グラウンドの状態が良いとの高評価をいただいた。
- 一方で外野の芝の状態に関して、整備の頻度（芝刈り）を増やして欲しいとの要望があった。
- 宿泊施設に関しては、今回チームスタッフのみの宿泊であったが、特に課題となる点の指摘等はない。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 起亜タイガース

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	起亜タイガース			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/2/21	終了日 (年/月/日)	2025/2/23

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	かりゆしビーチリゾート		
選手人数	40	人	監督等人数 35 人 (例：オーナー・GM・監督・コーチ)

	総額	延べ人数
宿泊費(朝食含む)	2,737,900 円	229 人
昼食費	594,000 円	人
夕食費	757,350 円	人

※市外宿泊

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	朝日観光バス	×	287,571 円	12 台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	トヨタレンタカー	×	42,222 円	10 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額	25,400 円
----------------	----------

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
球場整備費等	砂浜テント	○	105,600 円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 起亜タイガース

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
朝日福祉会（金武町）	×	572,000 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	借用決定時より、球場の状態を把握していたため
受け入れ対応	4	同上、現場職員の方にできる限りの協力はしていただきました。
宿泊施設		
食事		
交通アクセス		
周辺環境		

⑦ ご意見・ご要望等

施設の空き日に利用させていただき感謝しております。
次年度も機会があればよろしくお願いいたします（1月の自主トレも含め）

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 起亜タイガース

【選手・職員の方向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	起亜タイガース			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/2/21	終了日 (年/月/日)	2025/2/23

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額	
	(総額)	内、うるま市内での消費
朝食費	円	円
昼食費	500,000 円	500,000 円
夕食費	4,000,000 円	400,000 円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名（代表1つ）
	(総額)	内、うるま市内での消費	
交通費	171,428 円	21,428 円	沖縄観光バス

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名（代表1つ）
	(総額)	内、うるま市内での消費	
娯楽費	1,714,285 円	428,571 円	P-TIME 石川

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名（代表1つ）
	(総額)	内、うるま市内での消費	
買物費 土産購入費	1,285,714 円	214,285 円	イオン具志川

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	
受け入れ対応	4	
宿泊施設	3	
食事	4	
交通アクセス	3	
周辺環境	3	

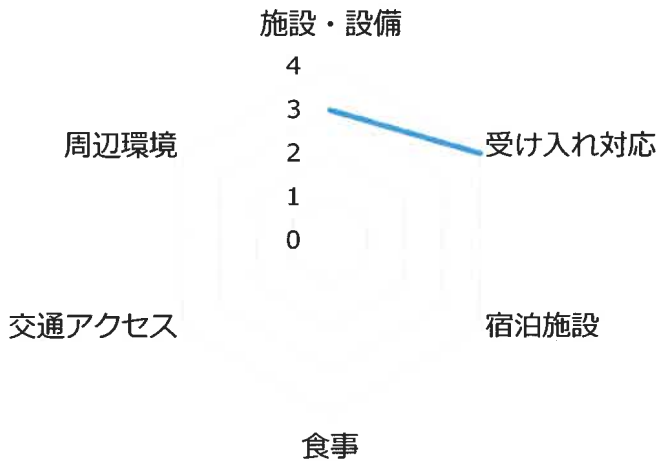
⑥ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 起亜タイガース

【総合評価】

起亜タイガース（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	3
受け入れ対応	4
宿泊施設	—
食事	—
交通アクセス	—
周辺環境	—

※市外宿泊であったため、「施設・設備」、「受け入れ対応」の2項目のみ回答

（総評・コメント）

- 起亜タイガース（団体）は当初、市外での宿泊・キャンプ実施予定となっていたが、市内施設の利用が可能な日程「2/21-23」において、うるま市内での活動を実施。
- 今回は市外での宿泊となっていたが、選手向けのアンケート結果から、交通費・娯楽費・土産購入費など各消費額の総額から、一定程度の市内における消費が見受けられた。
- キャンプ日程に合わせて、練習施設・宿泊施設等の受け入れ対応の調整ができた場合には、その他項目での市内消費額の上昇を高く期待することができると考えられる。
- 練習施設である石川球場については、他球団の評価同様、施設状態や設備に対しての課題が挙げられているため、今後の受け入れにあたっては他球団と同様に施設・設備の状態見直し等が求められてくると考えられる。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 名古屋経済大学

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	名古屋経済大学硬式野球部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/3/7	終了日 (年/月/日)	2025/3/16

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	ANAクラウンプラザ沖縄リゾートうるまヒルズ		
-----	------------------------	--	--

選手人数	68	人	監督等人数	6	人	(例：オーナー・GM・監督・コーチ)
------	----	---	-------	---	---	--------------------

	総額	延べ人数
宿泊費(朝食含む)	6,348,100 円	636 人
昼食費	502,480 円	572 人
夕食費	円	人

ワイズリゾート琉球（うるま市石川）

←宿泊代に含む

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	東陽バス	○	308,000 円	4 台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	トヨタレンタカー他	×	703,120 円	3 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額	98,800 円
----------------	----------

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
球場整備費等			円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 名古屋経済大学

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	雨天時を除けば、十分に練習できる環境にあります
受け入れ対応	4	スタッフの皆さんに協力していただきました
宿泊施設	4	立地を除けば特に問題ないです
食事	4	
交通アクセス	3	
周辺環境	3	ホテルからコンビニに行くことも大変です

⑦ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 名古屋経済大学

【選手・職員の方へ】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	名古屋経済大学硬式野球部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/3/7	終了日 (年/月/)	2025/3/16

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費	
朝食費		円		円
昼食費		円		円
夕食費	400,000	円	400,000	円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
交通費	30000	円	30000	円	石川タクシー

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
娯楽費		円		円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま市内での消費		利用事業者名(代表1つ)
買物費 土産購入費	2,000,000	円	1,500,000	円	タバタ

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価(最小評価1～最大評価5)

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備		
受け入れ対応		
宿泊施設		
食事		
交通アクセス		
周辺環境		

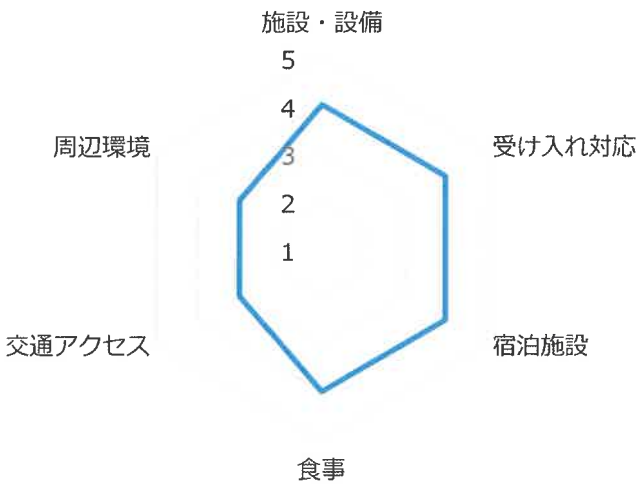
⑥ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 名古屋経済大学

【総合評価】

名古屋経済大学（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	4
受け入れ対応	4
宿泊施設	4
食事	4
交通アクセス	3
周辺環境	3

（総評・コメント）

- 石川球場の施設状態に関しては十分であるとの回答であった。一方で雨天時の練習に対応できる環境が整っておらず、その点での改善要望が挙げられている。
- トレーニングのほか、雨天時でも練習できる施設整備が求められている。
- 宿泊施設が今回、ANAクラウンプラザ沖縄リゾートうるまヒルズ（旧 アンサリゾート）であり、周辺環境として、コンビニ等がないことが少々不便に感じられたとの声があった。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 高校交流野球

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	高校野球交流試合			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/3/6	終了日 (年/月/)	2025/3/31

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	春日観光ホテル			
選手人数	200	人	監督等人数	10 人 (例：オーナー・GM・監督・コーチ)
	総額		延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	7,000	円	210	人
昼食費	1,000	円	210	人
夕食費	1,500	円	210	人

※宿泊内訳
平安高校：86名×3泊
至学館高校：29名×1泊
横浜隼人高校：75名×7泊
由利工業高校：20名×3泊

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル		×	円	台
自主トレ交通費		×	円	台
レンタカー		×	円	台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ)	総額	200,000	円
	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
球場整備費等			円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
整形外科	○	10,000	円
			円
			円
			円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 高校交流野球

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
コインランドリー	○	100,000 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	5	グラウンドの水はけがすごくよくなっていました
受け入れ対応	5	球場管理のセイカスポーツさんに柔軟に対応頂いた
宿泊施設	5	食事時間やボリュームなど学生向け対応頂いた
食事	5	食事時間やボリュームなど学生向け対応頂いた
交通アクセス	4	那覇から距離はあるが、高速から15分程度なので良し
周辺環境	3	コインランドリーが徒歩で行ければなおよかった

⑦ ご意見・ご要望等

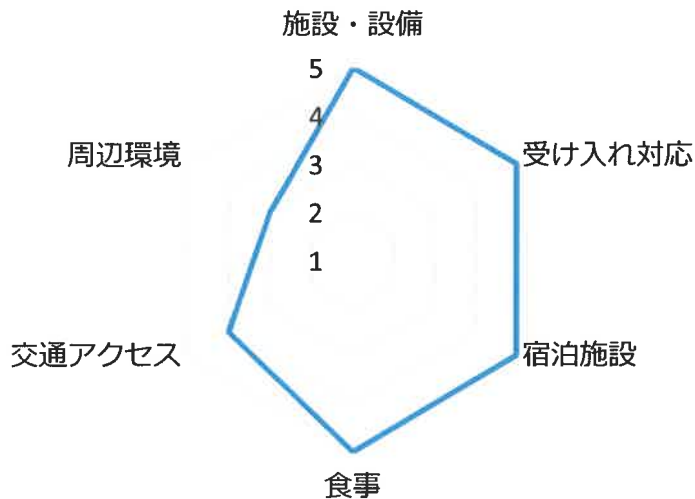
毎年うるま市での高校交流合宿は、地元のチームとも試合ができ、スムーズに対応頂いた。
今後も、うるま市の協力を得ながら、高校野球レベルアップにご協力いただけると助かります。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 高校交流野球

【総合評価】

高校交流野球（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	5
受け入れ対応	5
宿泊施設	5
食事	5
交通アクセス	4
周辺環境	3

（総評・コメント）

- 例年実施している高校交流野球は、総合評価に関して全体的に高い評価をいただいている。
- 阪神タイガース（二軍）等、プロチームのキャンプ実施に際して整備を行なっている施設に関しては「グラウンドの水捌けがすごく良くなっている」ことなど、昨年度に引き続き施設・設備の面で高評価となっている。
- 宿泊施設や食事面においても、宿泊先である春日観光ホテルの柔軟な受け入れ対応により、学生に応じた食事対応等が満足度の高い評価につながっている。
- 交通の面においては、空港からの距離はあるが、高速（IC）からのアクセスには不便を感じていない評価になっている。
- 一方、周辺環境に関して、コインランドリーが近くにないことが課題として挙げられた。
- ランドリーに関して、ホテルや市内事業者と提携する形での対応が、今後、利便性をあげることに繋がると考えられるため、次年度以降、事業者の紹介で定着化を図る取り組みとすることが望ましい。
- 今後もうるま市の協力を得ながら高校野球のレベルアップを望む要望もあるため、市内野球チームを中心とした交流機会（試合含む）の新たな創出も検討していくことも施策の一つとして取り組んでいけると更に良いと考える。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 栃木SC

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	栃木サッカークラブ			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/1/14	終了日 (年/月/日)	2025/1/26

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	アンサ沖縄リゾートホテル、オーシャンスパかりゆし		
-----	--------------------------	--	--

選手人数	30	人	監督等人数	15	人	(例：オーナー・GM・監督・コーチ)
------	----	---	-------	----	---	--------------------

	総額		延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	1,371,600	円	45	人
昼食費	1,327,800	円	45	人
夕食費	2,235,600	円	45	人

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額		台数	
バスレンタル	株式会社かりゆし	○	740,420	円	2	台
自主トレ交通費				円		台
レンタカー	タイムズカー那覇空港店	×	288,255	円	3	台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額	円
----------------	---

球場整備費等	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用	
	株式会社セイカスポーツセンター	○	324,520	円
				円
				円
				円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用	
ロクト整形外科クリニック	×	7290	円
			円
			円
			円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 栃木SC

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
コインランドリー	×	124,800 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	トレーニングや温泉等リラックスのできる環境が整っていた。
受け入れ対応	5	ご無理な要望にもなるべく対応いただけた
宿泊施設	4	ご担当者様と常に連絡させていただき、気になることは打ち合わせできた
食事	4	柔軟に対応いただけた
交通アクセス	3	ホテルから練習会場までの距離が遠い
周辺環境	3	近くにコンビニやスーパーがあると良いかと思う

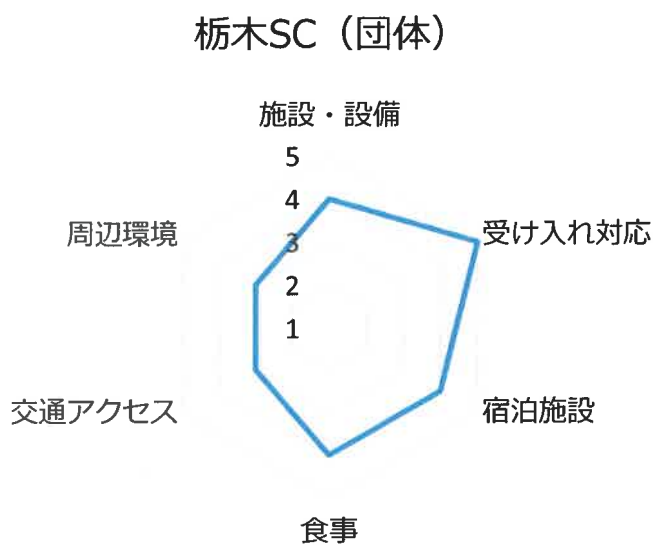
⑦ ご意見・ご要望等

ホテルから練習会場の距離、また、ホテル予約の確保はある程度進めていただきたと感じました。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 栃木SC

【総合評価】



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	4
受け入れ対応	5
宿泊施設	4
食事	4
交通アクセス	3
周辺環境	3

（総評・コメント）

- ・ キャンプ実施の受け入れ対応に関して、チーム状況に応じた対応をしてもらったとの高い評価を得られている。
- ・ 拠点施設の整備に関して、トレーニング施設だけではなく、リフレッシュメントとしての温泉等の環境が整っていたことも高評価の要因であった。
- ・ 選手やチームに対して、練習環境の整備はもちろんのこと、オン・オフの切り替えやコンディション維持の一つとして、リフレッシュできる環境整備も今後より重要視されてくると考える。
- ・ 今回、宿泊施設が石川エリア、練習会場が具志川エリアであったことから、双方間に距離があり、移動時間や負担に関する課題があがった。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 神奈川大学サッカー部

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	神奈川大学サッカー部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025.2.2	終了日 (年/月/日)	2025.2.19

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	HAMACHU			
選手人数	56	人	監督等人数	4 人 (例：オーナー・GM・監督・コーチ)
	総額		延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	2,292,830	円	418	人
昼食費	507,600	円	423	人
夕食費	846,000	円	423	人

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル	沖縄観光バス	×	299,600 円	2 台
自主トレ交通費	HAMACHU	○	280,500 円	1 台
レンタカー	トヨタレンタリース	×	102,300 円	1 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額		円		
球場整備費等	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用	
	具志川多種目球技場	○	169,250	円
	具志川体育館トレーニング室	○	246,400	円
				円
				円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 神奈川大学サッカー部

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
HAMACHU	○	109,200 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	体育館の老朽化でマイナス1ポイント
受け入れ対応	5	受け入れの対応は全く問題なしでした。気持ち良く使用できました。
宿泊施設	5	最高な受け入れ態勢を整えていただき、有意義な合宿となりました。
食事	5	沖縄の伝統食や地産品も食卓を彩り、美味しく、そして楽しい日々の食事でした。
交通アクセス	5	特に問題なし
周辺環境	5	自然環境が素晴らしかった。また、少し足を伸ばせば史蹟や観光地があるのも○

⑦ ご意見・ご要望等

この度は大変お世話になりました。うるま市の皆様のおかげで大変充実したキャンプを過ごすことができました。毎年の継続行事にしていきたいと考えております。引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 神奈川大学サッカー部

【選手・職員の方向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	神奈川大学サッカー部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025.2.2	終了日 (年/月/日)	2025.2.19

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内での消費	
朝食費	423,000	円	423,000	円
昼食費	507,600	円	507,600	円
夕食費	846,000	円	846,000	円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力をお願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内での消費		利用事業者名 (代表1つ)
交通費	682,400	円	280,500	円	沖縄観光バス

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力をお願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内での消費		利用事業者名 (代表1つ)
娯楽費	82,000	円	82,000	円	raise244

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力をお願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内での消費		利用事業者名 (代表1つ)
買物費 土産購入費	71,878	円	54,338	円	勝連城跡あまわりパーク

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力をお願いします。

⑤ 総合評価 (最小評価1～最大評価5)

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	体育館の老朽化でマイナス1ポイント
受け入れ対応	5	受け入れの対応は全く問題なしでした。気持ち良く使用できました。
宿泊施設	5	最高の受け入れ態勢を整えていただき、有意義な合宿となりました。
食事	5	最高の受け入れ態勢を整えていただき、有意義な合宿となりました。
交通アクセス	5	特に問題なし
周辺環境	5	自然環境が素晴らしい。また、少し足を伸ばせば史蹟や観光地があるのも◎

⑥ ご意見・ご要望等

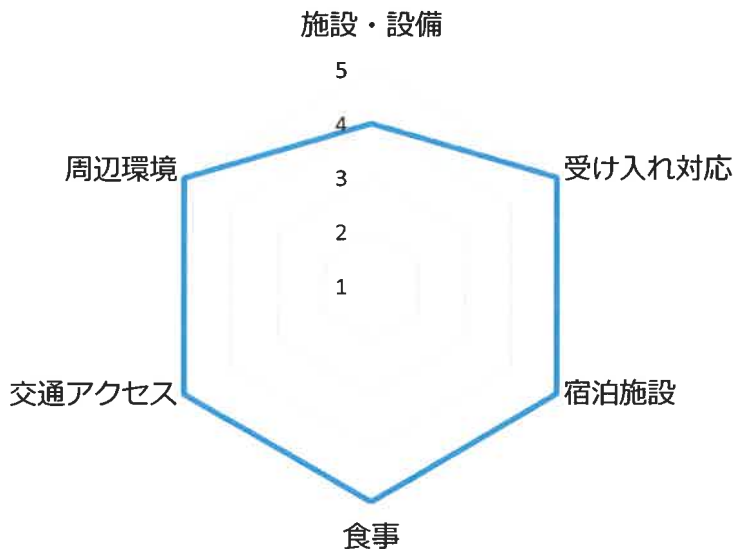
この度は大変お世話になりました。うるま市の皆様のおかげで大変充実したキャンプを過ごすことができました。毎年の継続行事にしていきたいと考えております。引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 神奈川大学サッカー部

【総合評価】

神奈川大学サッカー部（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	4
受け入れ対応	5
宿泊施設	5
食事	5
交通アクセス	5
周辺環境	5

（総評・コメント）

- ・ 今回、うるま市で初の合宿を実施した神奈川大学サッカー部は、宿泊を「HAMACHU」にて行い、同宿泊施設を利用するスポーツ合宿等は初めての試みとなった。
- ・ 大学の合宿としては、宿泊環境に特筆した課題感はなく、柔軟な対応・受け入れの点で高評価をいただいている。
- ・ 食事や交通アクセス、周辺環境においても高い評価となっており、沖縄県・うるま市の歴史や伝統的な食事等に触れたことに満足度があがっている。
- ・ 一方、今回使用した施設の一つである具志川体育館（トレーニング室）に関しては、老朽化が気になる点として挙げられた。
- ・ 今後、アリーナ完成後の施設利用（予約等の取りやすさ、トレーニング機器の充実度や使用頻度、設備の環境等）を見越して、サッカー種目における屋内施設（トレーニング）の利用に関して大学チームからのヒアリングを実施することで、上位カテゴリーにも通ずる環境整備の一助となると考えられる。
- ・ 宿泊施設のHAMACHUに関して、大学チームやその他一部実業団チーム等での合宿宿泊施設として展開が期待できる。今後は宿泊施設の選択肢を拡げていくことも踏まえ、様々なチームでの誘致を積極的に進めても良いと考える。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ NTN陸上競技部

【団体様向け】 2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	NTN陸上競技部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/1/27	終了日 (年/月/日)	2025/2/6

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	春日観光ホテル
-----	---------

選手人数	11	人	監督等人数	3	人	(例：オーナー・GM・監督・コーチ)
------	----	---	-------	---	---	--------------------

	総額		延べ人数	
宿泊費(朝食含む)	1,093,950	円	112	人
昼食費	135,125	円	112	人
夕食費	288,000	円	112	人

② 交通費

	事業名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル			円	台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	mixレンタカー	×	203,000 円	2 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額		円	
球場整備費等	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
			円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
暮らしの発酵スパ	×	19,500 円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ NTN陸上競技部

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	具志川体育館の設備が古かった。 トラックは与那城総合運動公園の新しいトラックがまだオープンしていなかった ので市内まで出ていた。与那城が出来たのは非常にありがたい。
受け入れ対応	4	今回も快く受け入れご対応頂いた。補助金が2000円つくのは非常にありがたく 合宿地を選択するポイントとなっている。空港からの送迎があると良い。
宿泊施設	3	少し古い宿だが従業員のお気遣いがあり快適に過ごせた。 食事がもう少し良くなってほしい。
食事	2	もう少しアスリート向けに内容、ボリュームが充実してほしい。
交通アクセス	4	空港からレンタカーで1時間はかなり利便性が良い。
周辺環境	3	スーパー、コンビニ、飲食店が近くにあるのはあり難い。 ただマラソンチームは周辺で練習することが多いので信号の多さや路面状況な どがあまり適した場所ではないと感じた。

⑦ ご意見・ご要望等

--

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ NTN陸上競技部

【選手・職員の方へ】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。
 お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	NTN陸上競技部			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/1/27	終了日 (年/月/)	2025/2/6

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額	
	(総額)	内、うるま市内での消費
朝食費	円	円
昼食費	円	円
夕食費	40,125 円	40,125 円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
交通費	円	円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
娯楽費	円	円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額		利用事業者名(代表1つ)
	(総額)	内、うるま市内での消費	
買物費 土産購入費	36,000 円	7,000 円	MEGAドン・キホーテ うるま店

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価(最小評価1～最大評価5)

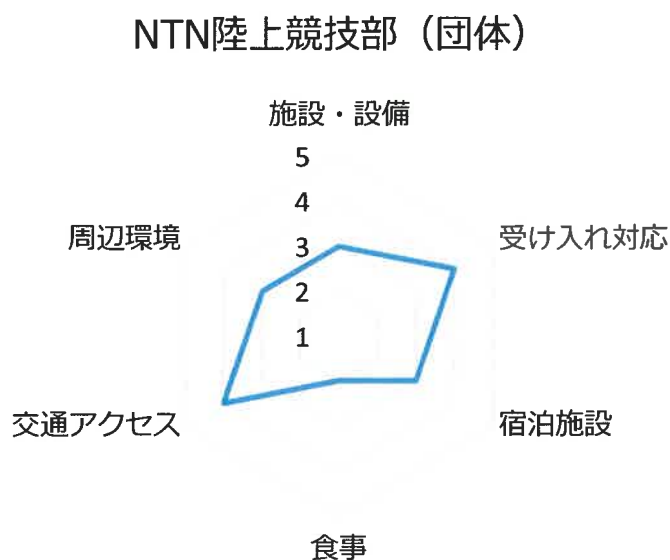
項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	3	
受け入れ対応	4	
宿泊施設	3	
食事	2	
交通アクセス	4	
周辺環境	3	

⑥ ご意見・ご要望等

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ NTN陸上競技部

【総合評価】



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	3
受け入れ対応	4
宿泊施設	3
食事	2
交通アクセス	4
周辺環境	4

（総評・コメント）

- ・ 今回、昨年度に実施した洲崎工業地帯の周回コースでの練習を実施。今後、トラック使用の練習もできる与那城陸上競技場のオープンに対する期待は高い。
- ・ 宿泊施設に関して、滞在する環境として宿泊先の受け入れ対応を含めて課題感はないが、唯一、食事面での改善を求める声があった。
- ・ アスリート向けの食事メニューやボリュームの要望があり、宿泊施設だけでなく、アスリートの食事に特化した管理栄養士との連携を次年度以降に取り入れる検討を進めていくことが求められる。
- ・ NTN陸上競技部は、予算面も重要視していることから、宿泊補助の2,000円は合宿実施の大きな助けとなっている。
- ・ 陸上（長距離等）はコインランドリーの設備は必須としておらず、選手自身で洗濯することで十分なものとなっており、宿泊費と食事面が重要視されている。
- ・ 金銭面の直接的な補助だけではなく、空港までの送迎サポートの対応可能性や地域連携によるチームへのメリットを提供できる仕組みで合宿地としての優位性を確立していくことも必要である。
- ・ 練習メニューによっては、宿泊施設周辺でのトレーニング実施もあることから、予算を見直したうえで宿泊施設の再検討も今後出てくると考えられる。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 北海道コンサドーレ札幌

【団体様向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ ご担当者様へ： お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	コンサドーレ			
キャンプ期間	開始日 (年/月/日)	2025/3/6	終了日 (年/月/日)	2024/3/10

① 宿泊費・飲食費

【選手・監督・関係者等】

宿泊先	春日観光ホテル
-----	---------

選手人数	8	人	監督等人数	2	人	(例：オーナー・GM・監督・コーチ)
------	---	---	-------	---	---	--------------------

	総額	延べ人数
宿泊費(朝食含む)	340,000 円	10 人
昼食費	38,000 円	10 人
夕食費	ホテル代に含まれている 円	人

② 交通費

	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	総額	台数
バスレンタル			円	台
自主トレ交通費			円	台
レンタカー	タイムズモビリティ株式会社	○	55,472 円	2 台

③ 施設使用料

施設使用料(キャンプ) 総額		62,180	円
球場整備費等	事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
	石川体育館	○	62,180 円
			円
			円
			円

④ 医療施設・健康施設等利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
		円
		円
		円
		円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 北海道コンサドーレ札幌

⑤ ランドリー利用費

事業者名 (うるま市内の場合は右欄に○、市外は×)	○または×	費用
春日観光ホテル	○	2,500 円
		円
		円
		円

⑥ 総合評価（最小評価1～最大評価5）

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	石川体育館にデジタルタイマーなどがあればなお良いと思います
受け入れ対応	5	皆様に大変よくしていただきました
宿泊施設	4	合宿には最適かとおもっています
食事	5	大変満足です
交通アクセス	3	車以外の移動が不便だと感じました
周辺環境	4	近隣にジムなどウエイトができる施設があればいいなとおもった

⑦ ご意見・ご要望等

今年度も大変お世話になりました。 石川体育館をメインに使用させていただいておりますが、もう少し近くに競技ができる施設があって、また雨天に外でトレーニングができなかったときにトレーニングジムなどが近くにあればなおよいのかなと思っています。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 北海道コンサドーレ札幌

【選手・職員の方向け】2024-2025年 うるま市 キャンプ アンケート票

※ うるま市内・市外で行われた個人消費についてお伺いいたします。
お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、うるま市キャンプの経済効果調査へのご協力をお願いいたします。

団体名	コンサドーレ			
キャンプ期間	開始日 (年/月/)	2025/3/6	終了日 (年/月/)	2025/3/10

① 飲食費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内 での消費	
朝食費	ホテル内	円		円
昼食費	7200	円	7200	円
夕食費	ホテル内	円		円

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

② 交通費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内 での消費		利用事業者名 (代表1つ)
交通費		円		円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

③ 娯楽費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内 での消費		利用事業者名 (代表1つ)
娯楽費		円		円	

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

④ 買物費・土産購入費

	本キャンプ時における消費額 (総額)		内、うるま 市内 での消費		利用事業者名 (代表1つ)
買物費	45000	円		円	那覇空港わしたショップ
土産購入費					

※市内での消費額を可能であれば記入ご協力お願いします。

⑤ 総合評価 (最小評価1～最大評価5)

項目	5段階評価 (数値)	評価理由
施設・設備	4	体育館パイプ椅子が多くさび付いていて使用が難しかった
受け入れ対応	5	関わる皆様に大変よくしていただきました
宿泊施設	4	他の団体さまとランドリーで混雑した
食事	5	ホテルでは栄養バランス、量ともに大変満足です。
交通アクセス	3	沖縄では車の交通量が多く、時間通りに動くのが難しいと感じた
周辺環境	4	合宿を行うには落ち着いた環境であると思う

⑥ ご意見・ご要望等

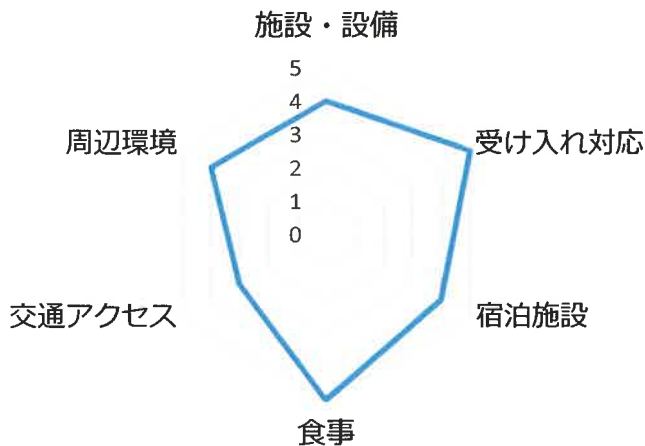
宿泊施設の洗濯場の混雑は合宿誘致で今後多くの団体が泊まる場合、多少大変になるのかと思いました。 宿泊施設から練習場まで、もう少し近くに設備の整った体育館があると便利だと思った。 関係者の皆様には大変親切にもらえて充実した合宿になりました。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ 北海道コンサドーレ札幌

【総合評価】

北海道コンサドーレ札幌（団体）



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	4
受け入れ対応	5
宿泊施設	4
食事	5
交通アクセス	3
周辺環境	4

（総評・コメント）

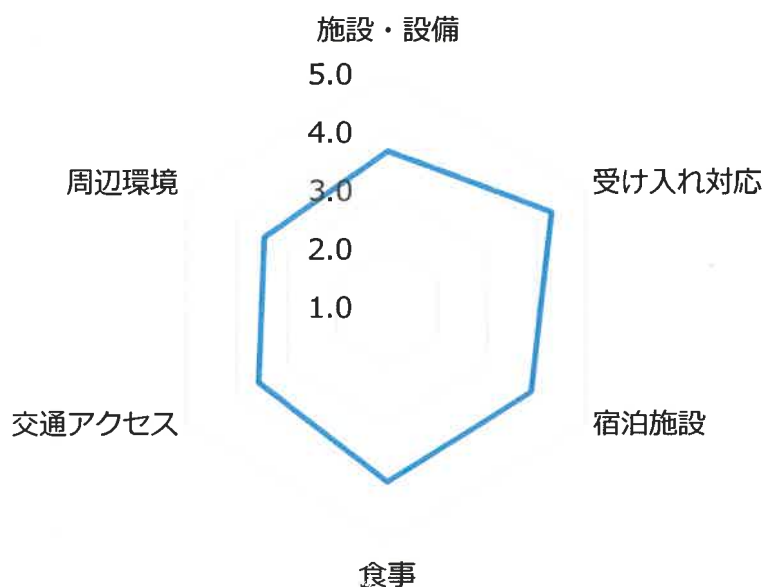
- 交通アクセスに関する課題が挙げられた。
- 移動手段がレンタカー（車）であったため、タイミングによっては空港到着後のレンタカー手続きに時間を要し、今回、到着時間が予定より大幅に遅れたこともあり、評価は3となった。
- コンサドーレは、合宿時に地域連携を重要視しており、今回、合宿期間中に地元中学生への教室開催も行なったことから、受け入れ対応など全体的に高い評価を得られた。
- チーム練習の面において、現在の設備が不十分ではないが、より充実した合宿とする際には、施設設備の完備（今回は、デジタルタイマーを希望として提示）や、屋外トレーニングの際、雨天時の場合に活用できるトレーニングルームなどの柔軟な使用が挙げられた。
- 今後、バドミントン種目のチーム誘致を視野に入れる際、施設設備の完備や練習メニューの充実度を高めるためのトレーニングルームの使用も加味した受け入れ対応を検討していく必要がある。
- バドミントンは複数チームでの合同練習の機会は十分に考えられるとのコメントもあり、単独チームだけでなく、大会誘致等、複数チームで実施できる環境整備や施策を取り込んでいくことが効果的な誘致につながると考える。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【総合評価 | 全体（チーム・団体）平均】

全体（チーム・団体）平均



項目	5段階評価 (数値)
施設・設備	3.7
受け入れ対応	4.3
宿泊施設	3.9
食事	4.0
交通アクセス	3.6
周辺環境	3.4

（総評・コメント）

- 全体的には平均3以上の評価が得られた結果となったが、「施設・設備」の項目に関しては、具志川地域と石川地域にある施設や整備で評価の差が見られた。
- 具志川地域では、具志川球場の阪神のキャンプ受け入れに伴い整備が進んでいる。一方で、石川エリアでは今後の施設整備に期待したい声が見られた。具体的には、芝の状態維持や雨天時でのトレーニング環境が求められてくる。
- 「周辺環境」に関して、現状の宿泊施設の周辺では気軽に買い物等ができる環境下でなく、車で数分かかる立地から、移動を伴う行動範囲に対する評価は他の項目よりも低い傾向となった。
- 「受け入れ対応」に関しては、市内でのキャンプ・合宿等の受け入れノウハウが蓄積されていることや課題への対応策が講じられていることから、満足度の高い評価とされている。
- ハード面（施設整備・宿泊施設の立地環境）への課題はあるものの、ソフト面（サービス対応等）への対応は年を追うごとに改善が図られている。そのため、評価を得られている傾向が見受けられる。

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【令和6年度 スポーツ合宿にかかわる市内消費額】 合計：160,188,220円

ID	Project Name		Status	Priority	Start Date	End Date	Duration	Budget	Actual Cost	Variance	Progress %	Risk Level	Owner	Team Lead	Department
	Code	Description													
001	Project A	Project A	Completed	High	2023-01-01	2023-03-31	90	\$100,000	\$95,000	\$5,000	100%	Low	John Doe	Jane Smith	IT
002	Project B	Project B	In Progress	Medium	2023-04-01	2023-06-30	90	\$200,000	\$180,000	\$20,000	90%	Medium	Mike Johnson	Emily White	Marketing
003	Project C	Project C	On Hold	Low	2023-07-01	2023-09-30	90	\$50,000	\$50,000	\$0	50%	High	David Brown	Sarah Green	Finance
004	Project D	Project D	Completed	High	2023-10-01	2023-12-31	90	\$300,000	\$290,000	\$10,000	100%	Low	Chris Black	Alex Grey	Operations
005	Project E	Project E	In Progress	Medium	2024-01-01	2024-03-31	90	\$150,000	\$140,000	\$10,000	85%	Medium	Olivia Blue	Noah Yellow	HR
006	Project F	Project F	On Hold	Low	2024-04-01	2024-06-30	90	\$75,000	\$75,000	\$0	30%	High	Liam Purple	Mia Pink	Legal
007	Project G	Project G	Completed	High	2024-07-01	2024-09-30	90	\$250,000	\$245,000	\$5,000	100%	Low	Ethan Orange	Ava Green	IT
008	Project H	Project H	In Progress	Medium	2024-10-01	2024-12-31	90	\$180,000	\$170,000	\$10,000	90%	Medium	Isabella Blue	Lucas Yellow	Marketing
009	Project I	Project I	On Hold	Low	2025-01-01	2025-03-31	90	\$90,000	\$90,000	\$0	20%	High	Benjamin Purple	Charlotte Pink	Finance
010	Project J	Project J	Completed	High	2025-04-01	2025-06-30	90	\$350,000	\$340,000	\$10,000	100%	Low	Amelia Orange	James Green	Operations

※太字箇所が「うるま市内」消費額

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

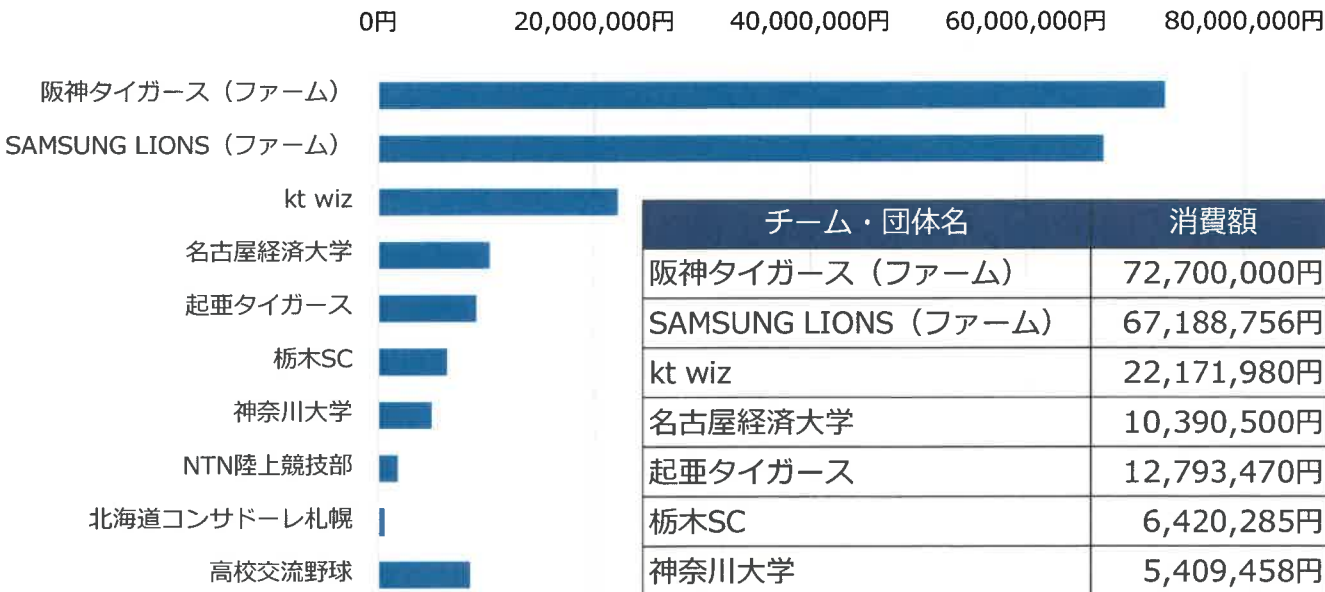
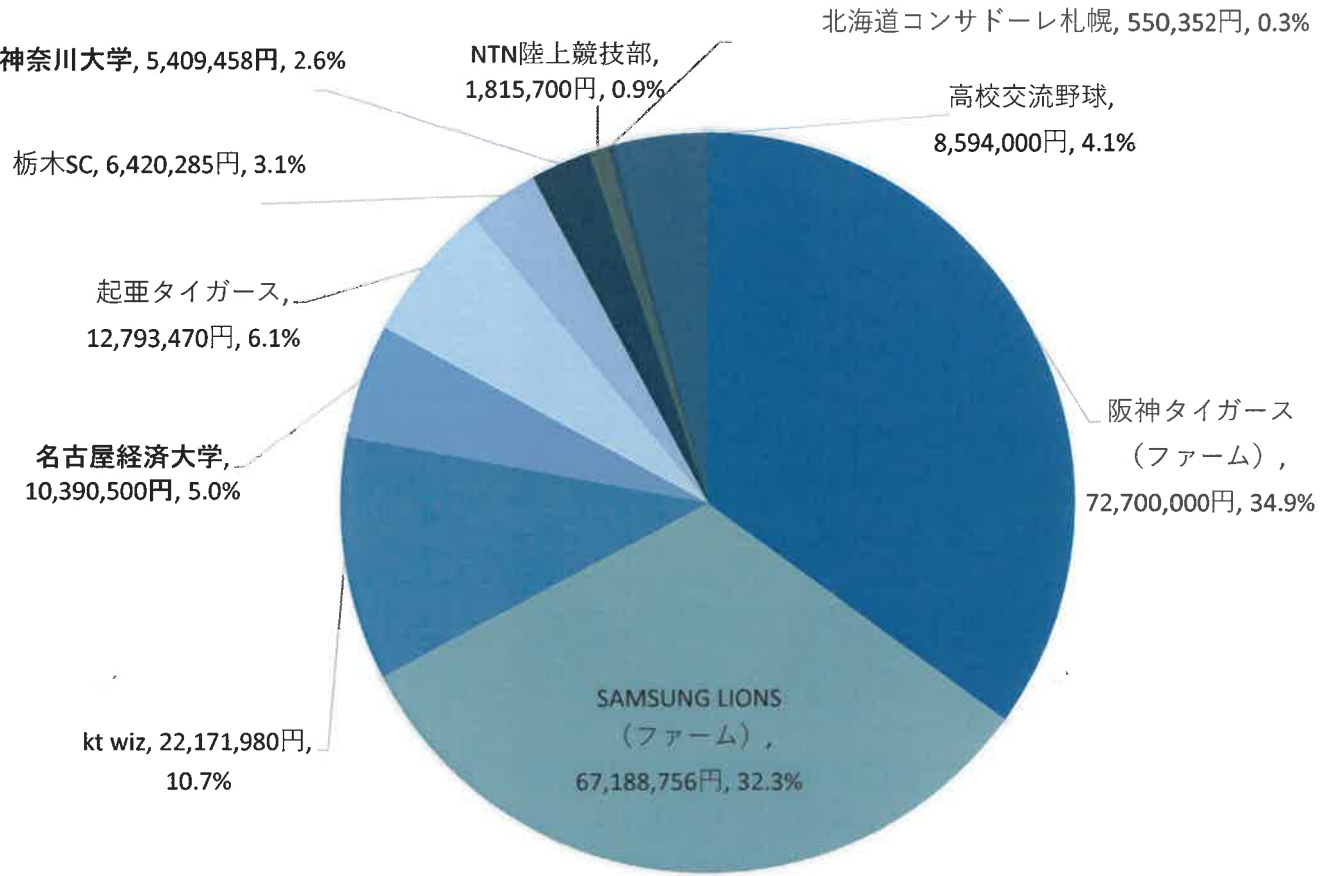
【 うるま市内消費額の比較（令和５年度、令和６年度） 】

	令和5年度		令和6年度		前年度からの増減
	各費目合計	割合	各費目合計	割合	
宿泊費	70,999,159円	43.0%	63,013,397円	39.3%	▲ 7,985,762円
昼食費	12,561,595円	7.6%	16,251,355円	10.1%	3,689,760円
夕食費	8,680,468円	5.3%	29,577,269円	18.5%	20,896,801円
バスレンタル	9,902,980円	6.0%	8,898,920円	5.6%	▲ 1,004,060円
タクシー	940,810円	0.6%	751,428円	0.5%	▲ 189,382円
レンタカー	0円	0.0%	55,472円	0.0%	55,472円
ランドリー費	7,471,500円	4.5%	4,441,310円	2.8%	▲ 3,030,190円
施設使用料	3,351,230円	2.0%	8,506,800円	5.3%	5,155,570円
医療費	26,650円	0.0%	10,000円	0.0%	▲ 16,650円
備品使用料	8,866,606円	5.4%	7,896,075円	4.9%	▲ 970,531円
個人消費	42,397,000円	25.7%	20,786,194円	13.0%	▲ 21,610,806円
市内消費額（総計）	165,197,998円	100.0%	160,188,220円	100.0%	▲ 5,009,778円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

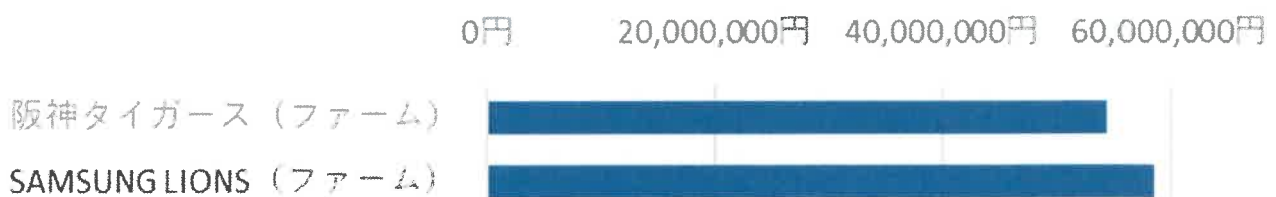
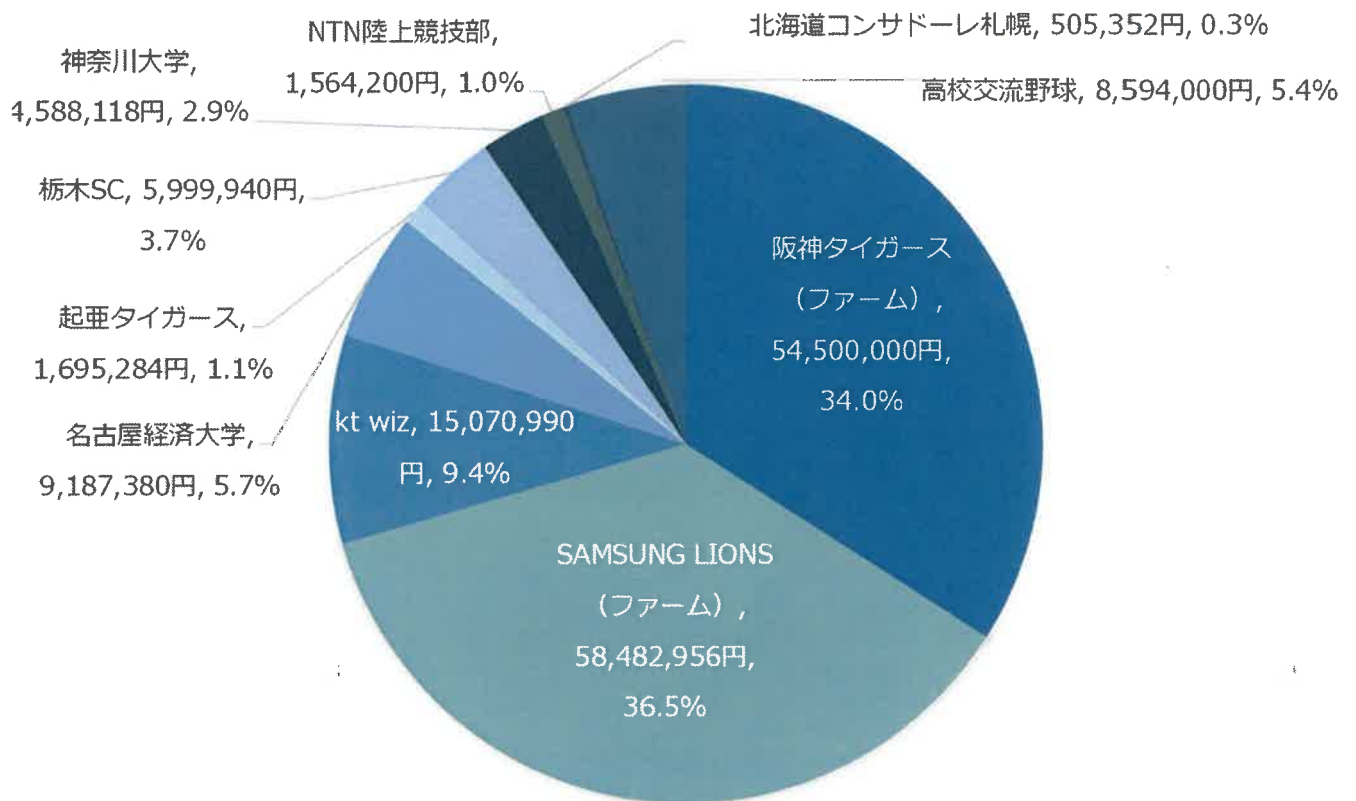
【チーム別消費額（市内&市外を含む）】



第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【チーム別 | うるま市内における消費額】

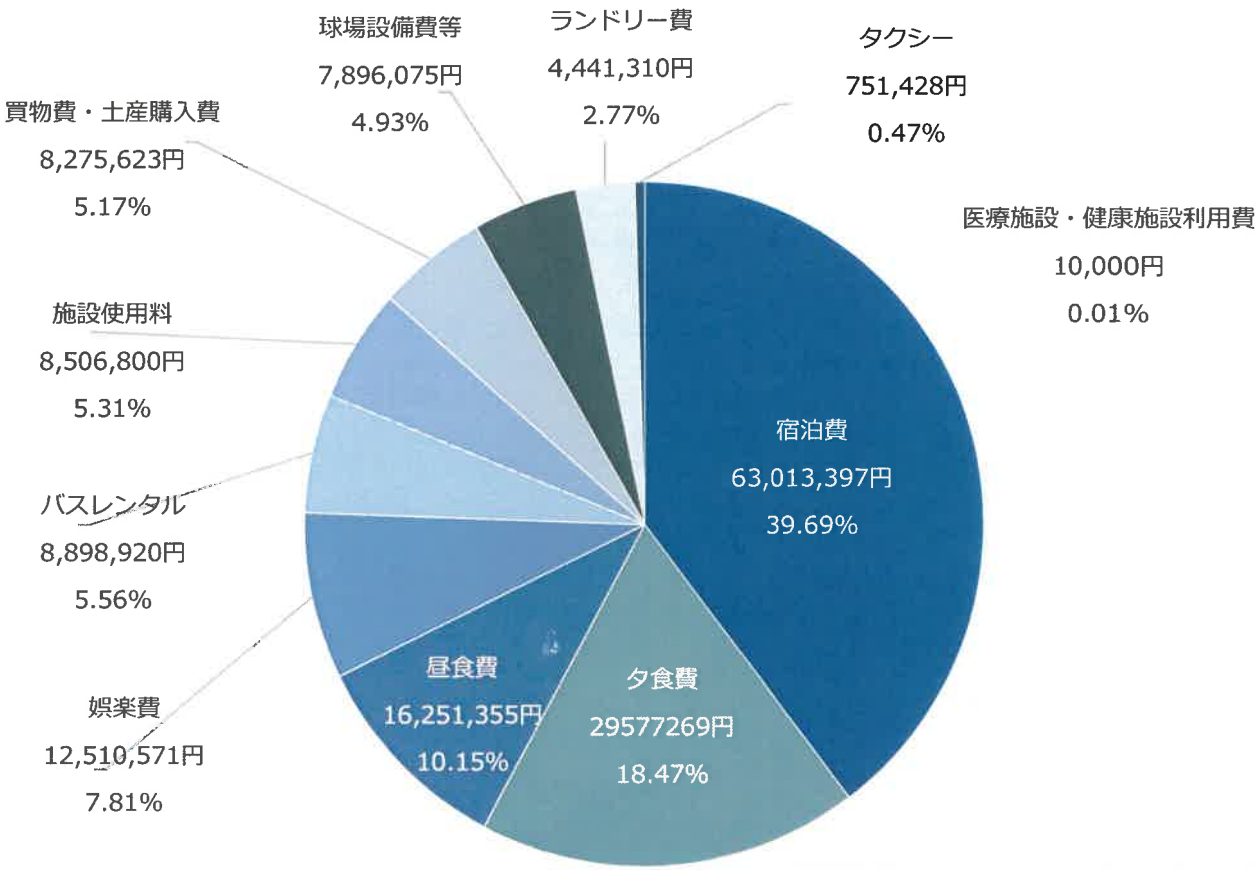


チーム・団体名	消費額
阪神タイガース (ファーム)	54,500,000円
SAMSUNG LIONS (ファーム)	58,482,956円
kt wiz	15,070,990円
名古屋経済大学	9,187,380円
起亜タイガース	1,695,284円
栃木SC	5,999,940円
神奈川大学	4,588,118円
NTN陸上競技部	1,564,200円
北海道コンサドーレ札幌	505,352円
高校交流野球	8,594,000円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

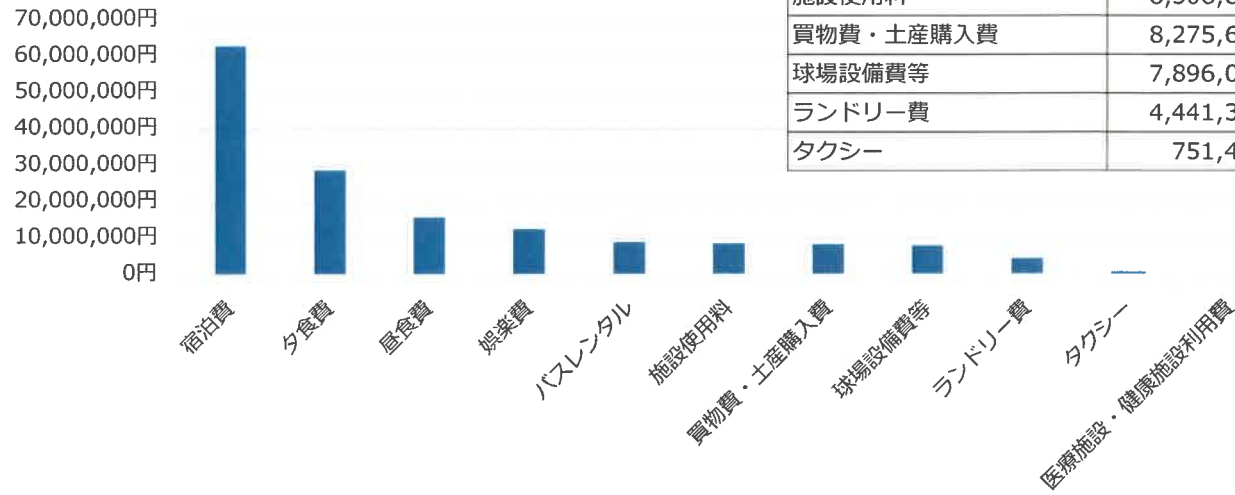
■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【項目別 | 市内消費の内訳】



内訳

項目	消費額
宿泊費	63,013,397円
夕食費	29,577,269円
昼食費	16,251,355円
娯楽費	12,510,571円
バスレンタル	8,898,920円
施設使用料	8,506,800円
買物費・土産購入費	8,275,623円
球場設備費等	7,896,075円
ランドリー費	4,441,310円
タクシー	751,428円

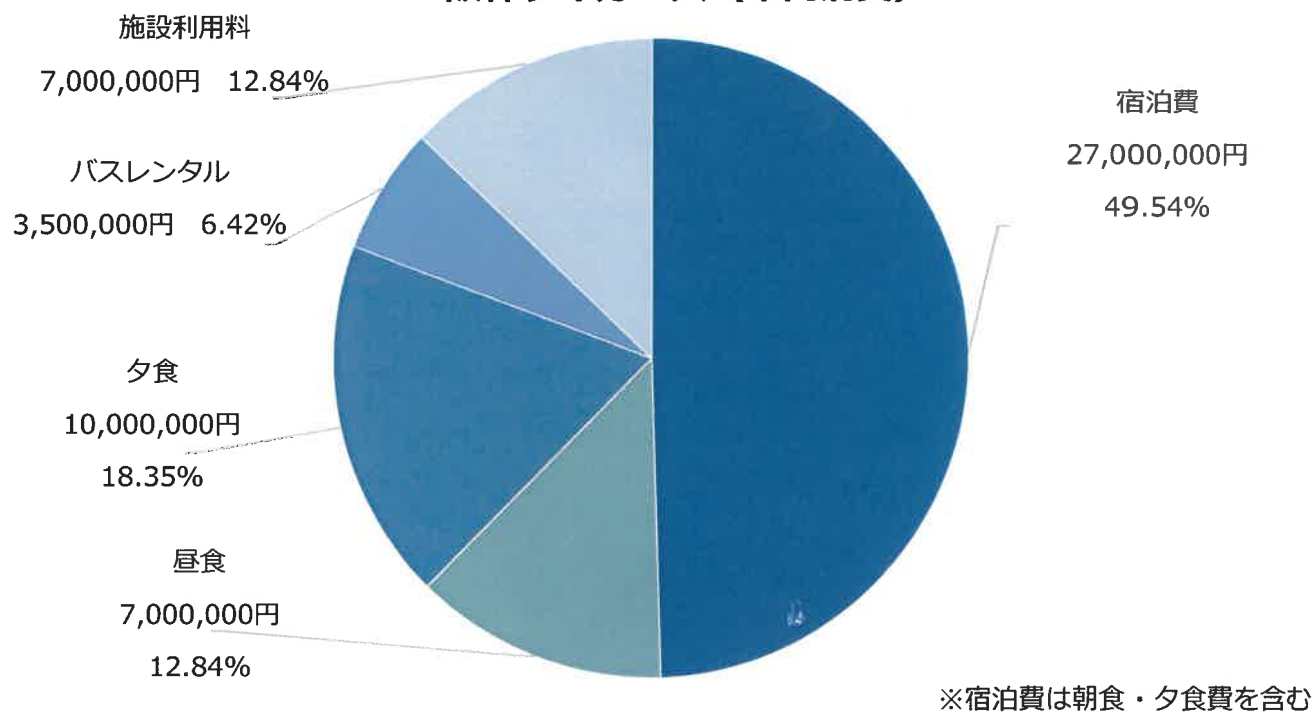


第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】

阪神タイガース（市内消費）



宿泊費		27,000,000円
昼食費	総額	7,000,000円
	うるま市内	7,000,000円
夕食費	総額	10,000,000円
	うるま市内	10,000,000円
バスレンタル	総額	3,500,000円
	うるま市内	3,500,000円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	2,400,000円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	5,000,000円
	うるま市内	0円
施設使用料	総額	7,000,000円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	10,800,000円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	0円
	うるま市内	0円

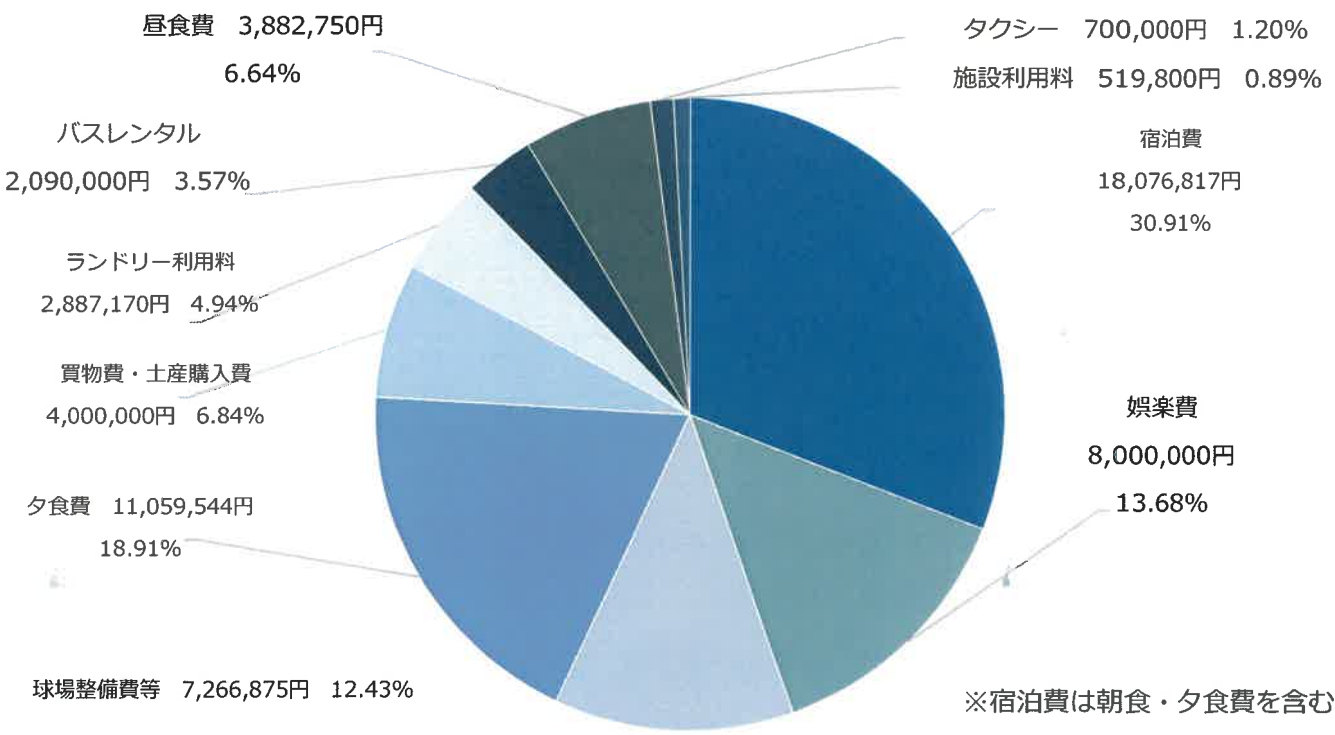
市内消費合計	54,540,000円
市外消費合計	18,200,000円
消費合計	72,740,000円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】

SAMSUNG（市内消費）



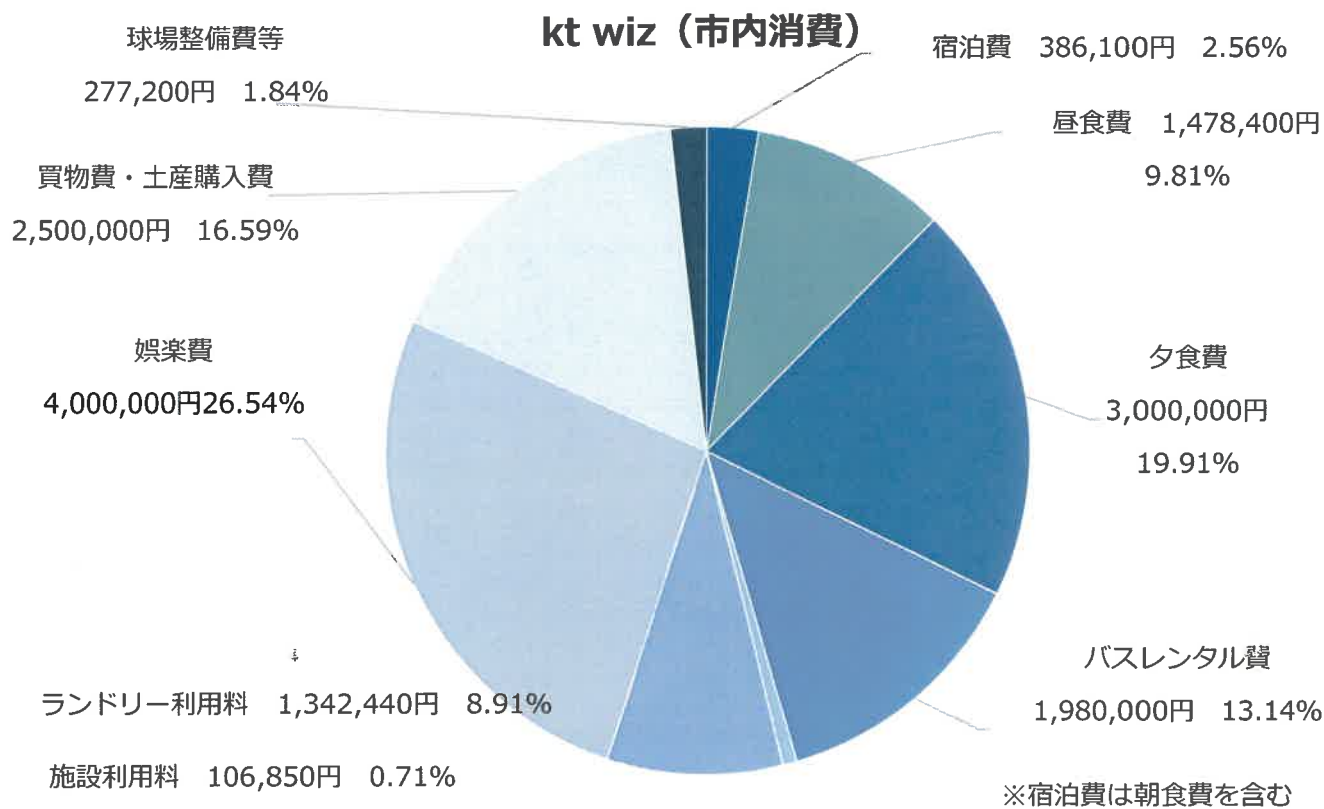
宿泊費		18,076,817円
昼食費	総額	4,082,750円
	うるま市内	3,882,750円
夕食費	総額	12,059,544円
	うるま市内	11,059,544円
バスレンタル	総額	2,090,000円
	うるま市内	2,090,000円
タクシー	総額	800,000円
	うるま市内	700,000円
レンタカー	総額	1,405,800円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	2,887,170円
	うるま市内	2,887,170円
施設使用料	総額	519,800円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	7,266,875円
	うるま市内	7,266,875円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	10,000,000円
	うるま市内	8,000,000円
買物費・土産購入費	総額	8,000,000円
	うるま市内	4,000,000円
合計消費額		67,188,756円
市内消費額		58,482,956円

市内消費合計	58,482,956円
市外消費合計	8,705,800円
消費合計	67,188,756円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】



宿泊費		386,100円
昼食費	総額	1,478,400円
	うるま市内	1,478,400円
夕食費	総額	5,000,000円
	うるま市内	3,000,000円
バスレンタル	総額	1,980,000円
	うるま市内	1,980,000円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	1,600,990円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	1,342,440円
	うるま市内	1,342,440円
施設使用料	総額	106,850円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	277,200円
	うるま市内	277,200円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	5,000,000円
	うるま市内	4,000,000円
買物費・土産購入費	総額	5,000,000円
	うるま市内	2,500,000円
合計消費額		22,171,980円
市内消費額		15,070,990円

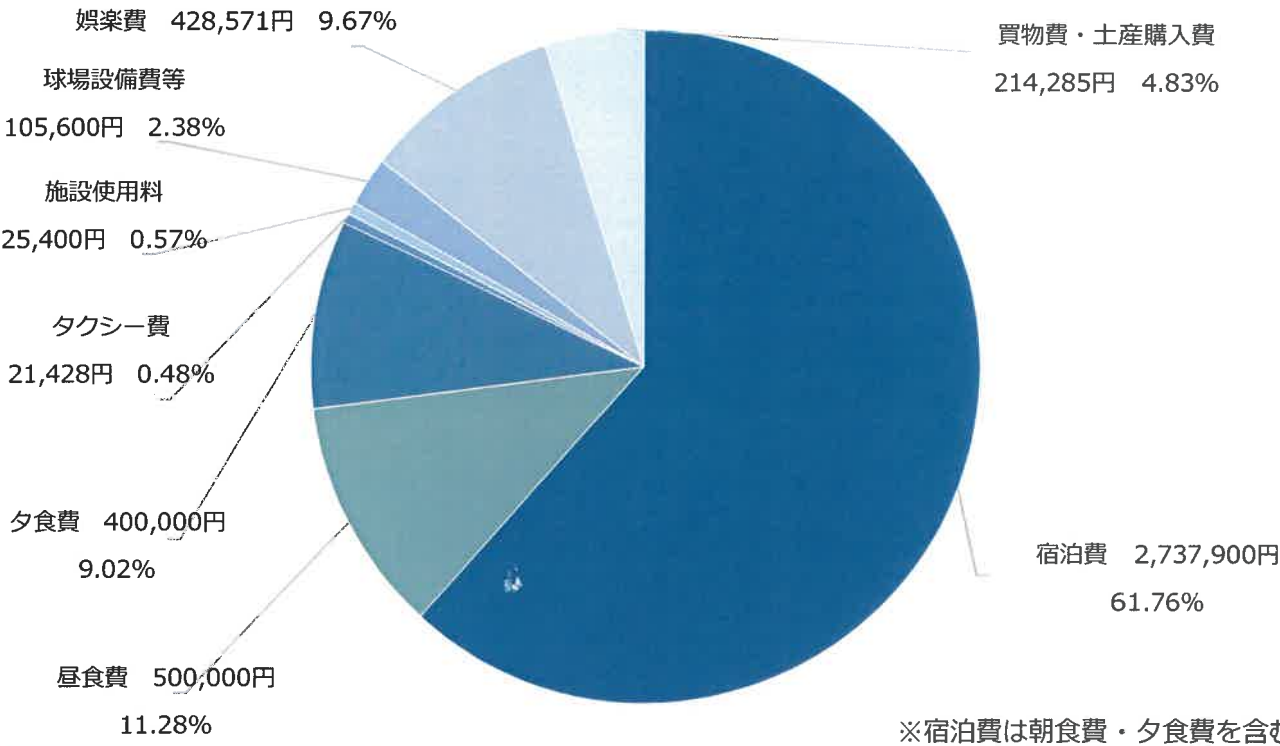
市内消費合計	15,070,990円
市外消費合計	7,100,990円
消費合計	22,171,980円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】

起亜タイガース（市内消費）



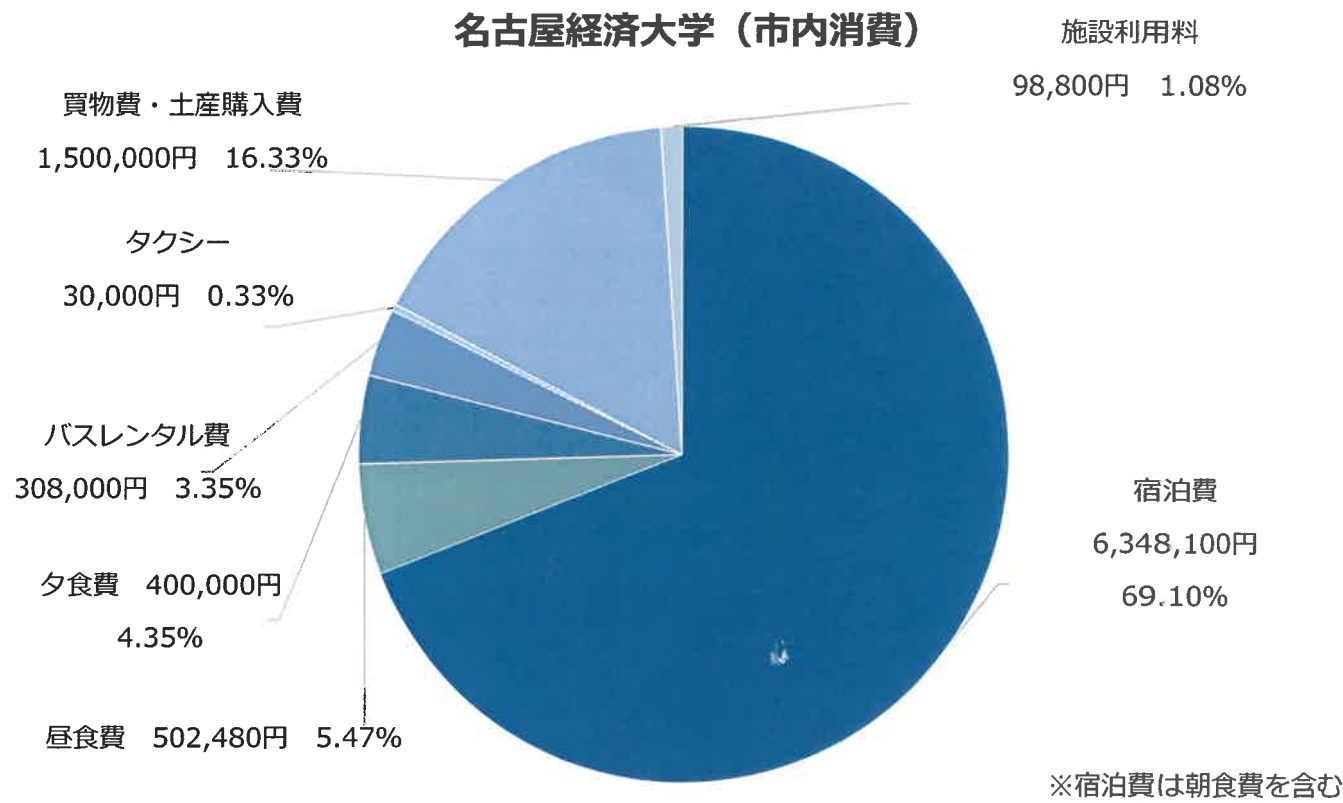
宿泊費		2,737,900円
昼食費	総額	1,094,000円
	うるま市内	500,000円
夕食費	総額	4,757,350円
	うるま市内	400,000円
バスレンタル	総額	287,571円
	うるま市内	0円
タクシー	総額	171,428円
	うるま市内	21,428円
レンタカー	総額	42,222円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	572,000円
	うるま市内	0円
施設使用料		総額 25,400円
球場設備費等	総額	105,600円
	うるま市内	105,600円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	1,714,285円
	うるま市内	428,571円
買物費・土産購入費	総額	1,285,714円
	うるま市内	214,285円
合計消費額		12,793,470円
市内消費額		1,695,284円

市内消費合計	4,433,184円
市外消費合計	8,360,286円
消費合計	12,793,470円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】



宿泊費		6,348,100円
昼食費	総額	502,480円
	うるま市内	502,480円
夕食費	総額	400,000円
	うるま市内	400,000円
バスレンタル	総額	308,000円
	うるま市内	308,000円
タクシー	総額	30,000円
	うるま市内	30,000円
レンタカー	総額	703,120円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	0円
	うるま市内	0円
施設使用料		98,800円
球場設備費等	総額	0円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	2,000,000円
	うるま市内	1,500,000円
合計消費額		10,390,500円
市内消費額		9,187,380円

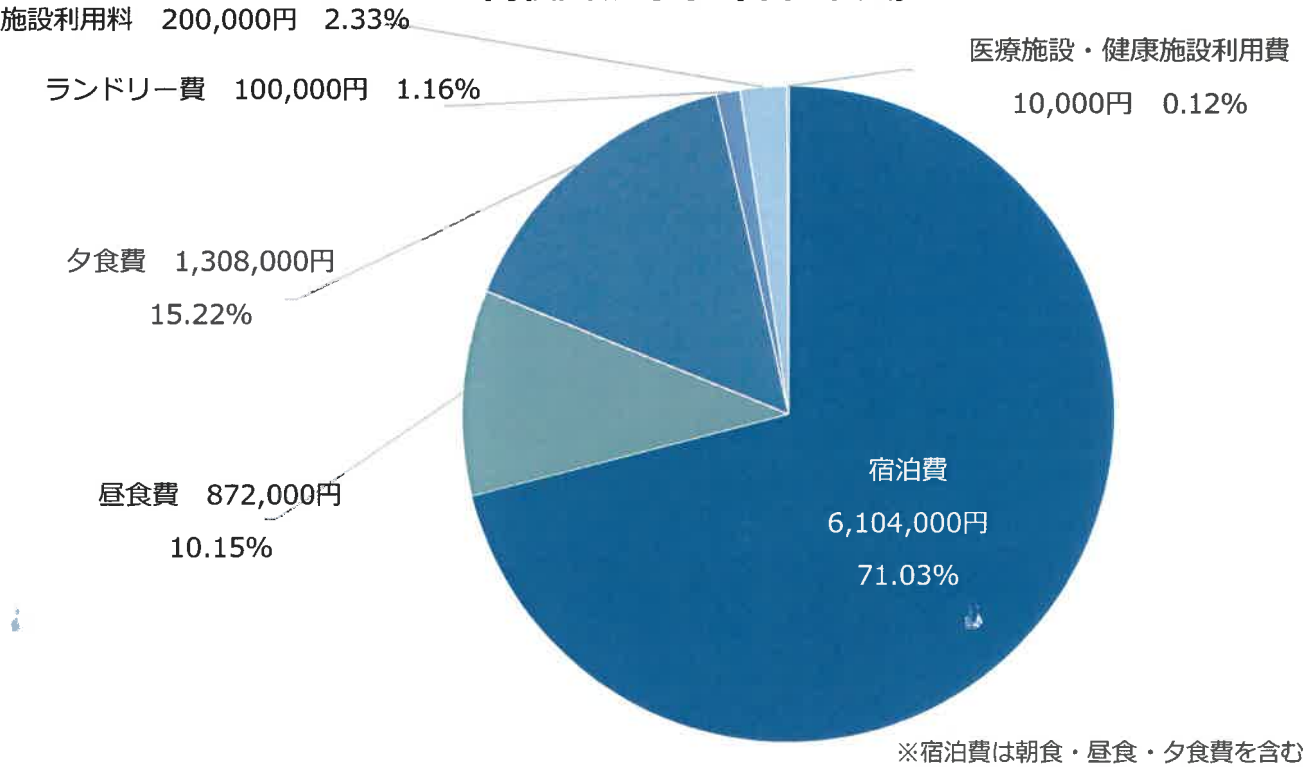
市内消費合計	9,187,380円
市外消費合計	1,203,120円
消費合計	10,390,500円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】

高校交流野球（市内消費）



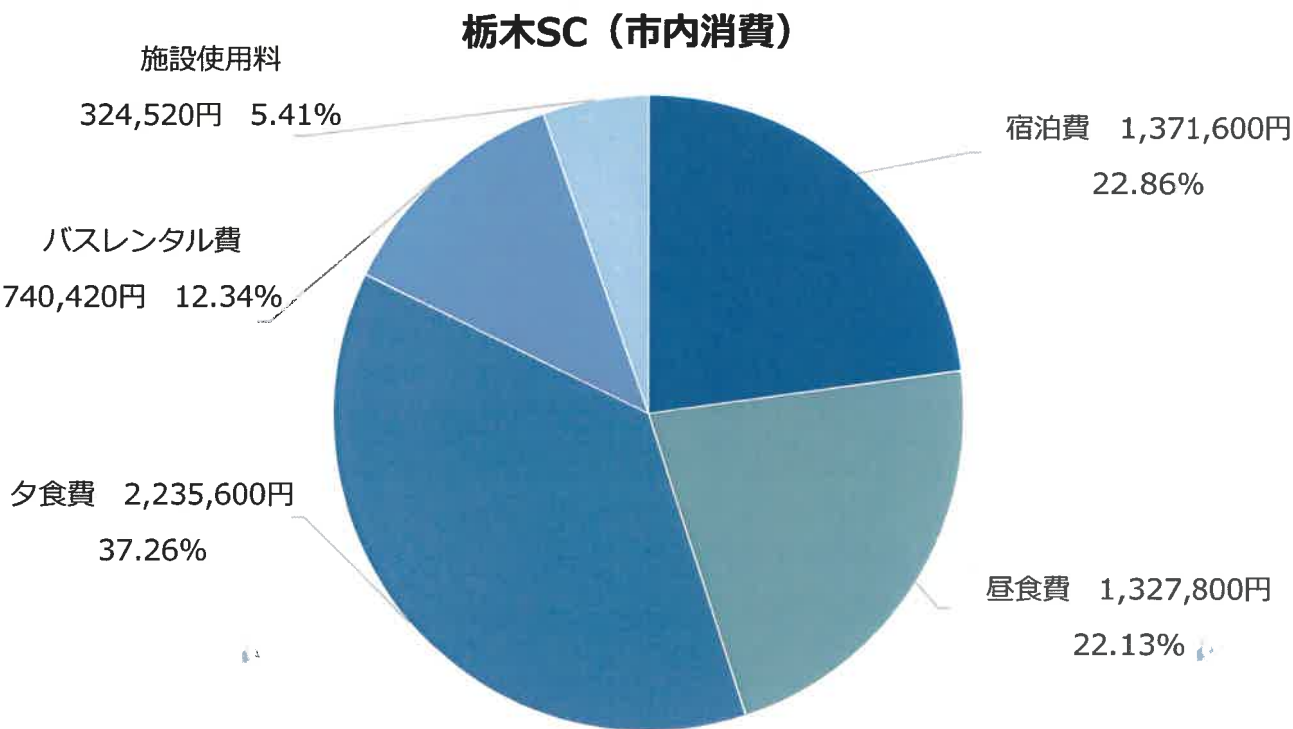
宿泊費		6,104,000円
昼食費	総額	872,000円
	うるま市内	872,000円
夕食費	総額	1,308,000円
	うるま市内	1,308,000円
バスレンタル	総額	0円
	うるま市内	0円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	0円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	100,000円
	うるま市内	100,000円
施設使用料	総額	200,000円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	0円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	10,000円
	うるま市内	10,000円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	0円
	うるま市内	0円
合計消費額		8,594,000円
市内消費額		8,594,000円

市内消費合計	8,594,000円
市外消費合計	0円
消費合計	8,594,000円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】



※宿泊費は朝食・夕食費を含む

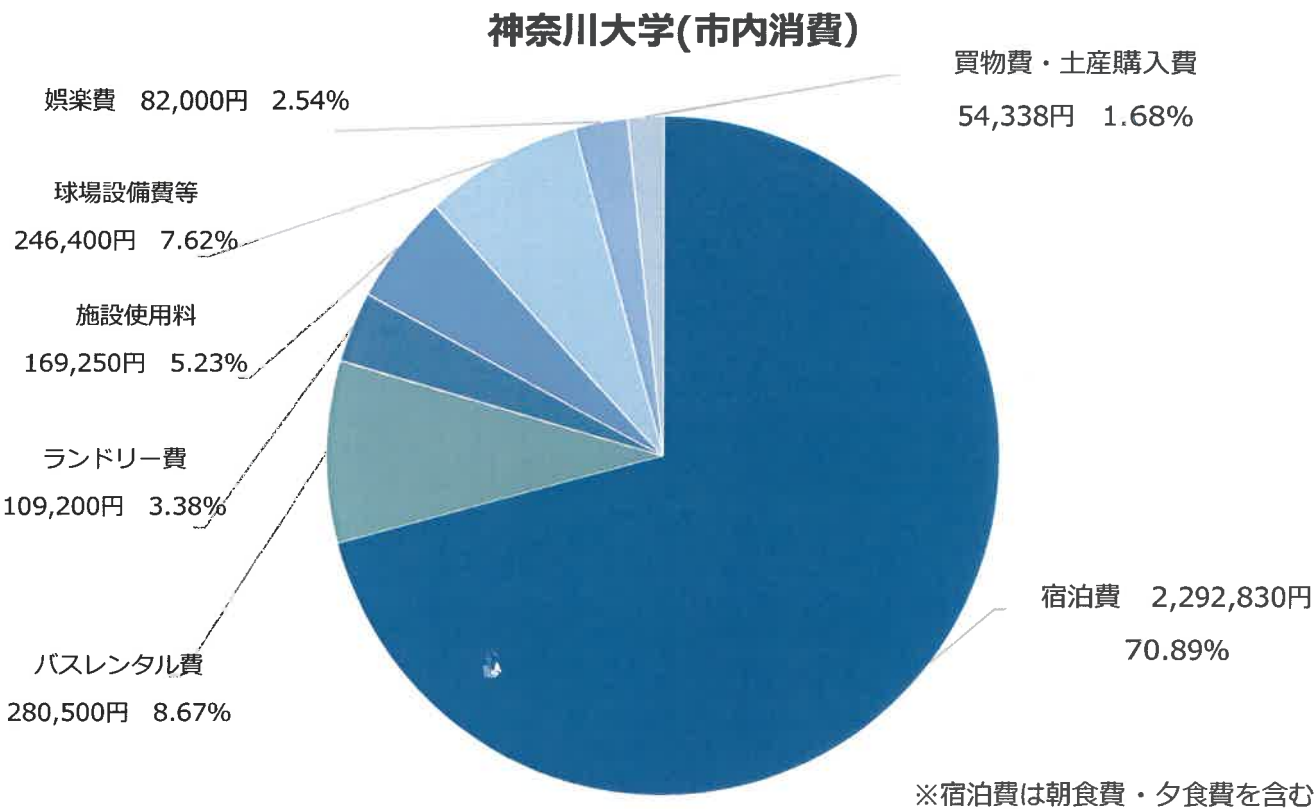
宿泊費		1,371,600円
昼食費	総額	1,327,800円
	うるま市内	1,327,800円
夕食費	総額	2,235,600円
	うるま市内	2,235,600円
バスレンタル	総額	740,420円
	うるま市内	740,420円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	288,255円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	124,800円
	うるま市内	0円
施設使用料	総額	324,520円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	0円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	7,290円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	0円
	うるま市内	0円
合計消費額		6,420,285円
市内消費額		5,999,940円

市内消費合計	5,999,940円
市外消費合計	420,345円
消費合計	6,420,285円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】



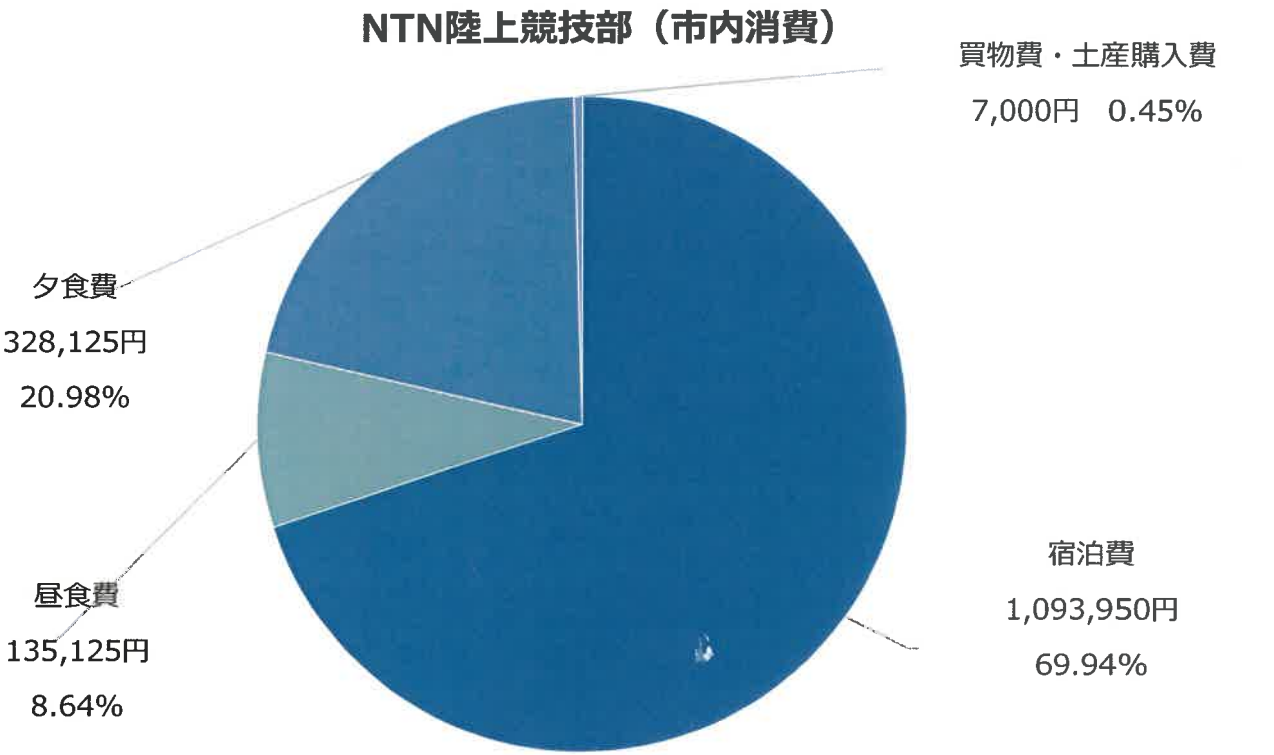
宿泊費		2,292,830円
屋食費	総額	507,600円
	うるま市内	507,600円
夕食費	総額	846,000円
	うるま市内	846,000円
バスレンタル	総額	982,000円
	うるま市内	280,500円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	102,300円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	109,200円
	うるま市内	109,200円
施設使用料	総額	169,250円
	うるま市内	169,250円
球場設備費等	総額	246,400円
	うるま市内	246,400円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	82,000円
	うるま市内	82,000円
買物費・土産購入費	総額	71,878円
	うるま市内	54,338円
合計消費額		5,409,458円
市内消費額		4,588,118円

市内消費合計	4,588,118円
市外消費合計	821,340円
消費合計	5,409,458円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】



※宿泊費は朝食費・夕食費を含む

宿泊費		1,093,950円
昼食費	総額	135,125円
	うるま市内	135,125円
夕食費	総額	328,125円
	うるま市内	328,125円
バスレンタル	総額	0円
	うるま市内	0円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	203,000円
	うるま市内	0円
ランドリー費	総額	0円
	うるま市内	0円
施設使用料	総額	0円
	うるま市内	0円
球場設備費等	総額	0円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	19,500円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	36,000円
	うるま市内	7,000円
合計消費額		1,815,700円
市内消費額		1,564,200円

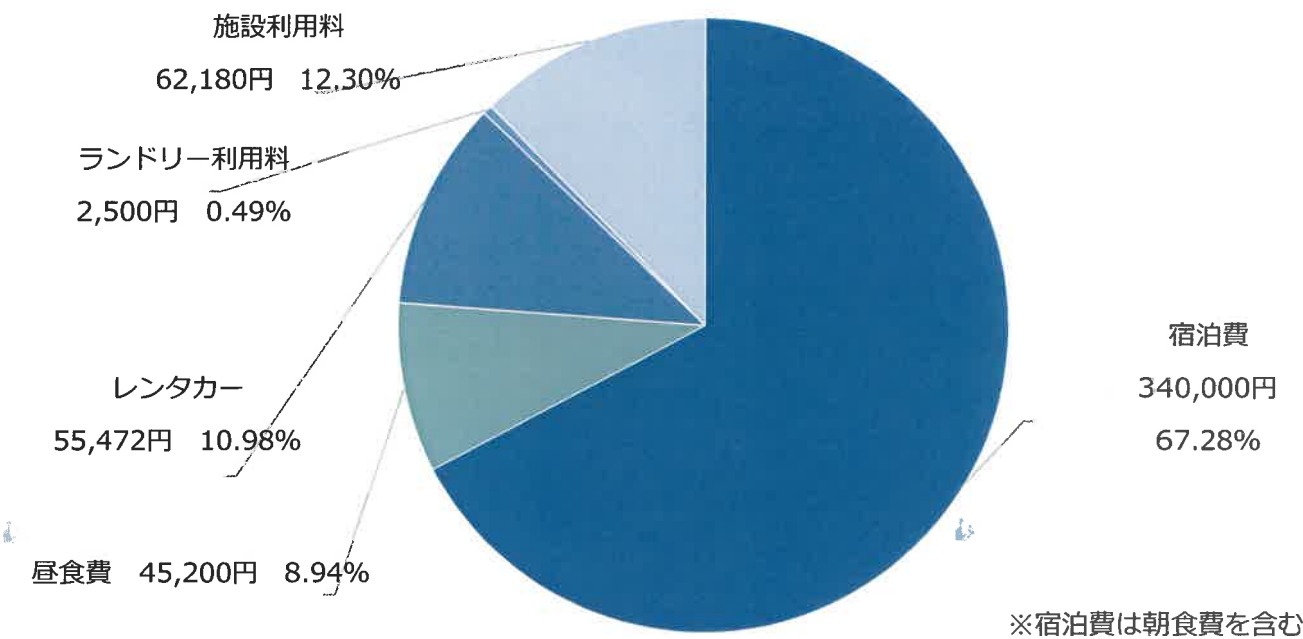
市内消費合計	1,564,200円
市外消費合計	251,500円
消費合計	1,815,700円

第六章（１）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

■ スポーツ合宿等に関わる消費額

【団体別 | 市内消費の内訳】

北海道コンサドーレ札幌（市内消費）



宿泊費		340,000円
昼食費	総額	45,200円
	うるま市内	45,200円
夕食費	総額	0円
	うるま市内	0円
バスレンタル	総額	0円
	うるま市内	0円
タクシー	総額	0円
	うるま市内	0円
レンタカー	総額	55,472円
	うるま市内	55,472円
ランドリー費	総額	2,500円
	うるま市内	2,500円
施設使用料	総額	62,180円
球場設備費等	総額	0円
	うるま市内	0円
医療施設・健康施設利用費	総額	0円
	うるま市内	0円
娯楽費	総額	0円
	うるま市内	0円
買物費・土産購入費	総額	45,000円
	うるま市内	0円
合計消費額		550,352円
市内消費額		505,352円

市内消費合計	505,352円
市外消費合計	45,000円
消費合計	550,352円

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

①調査概要

実施概要

うるま市を訪れた来訪者数及びうるま市における直接経済効果を算出すること並びに市内消費額を高めるため、アンケートやヒアリング等を通じて需要を把握し、市内企業に還元できるか調査することを目的とする。

・実施期間

令和7年2月1日（土） ～ 令和7年2月25日（火）

・実施場所

うるま市具志川球場（阪神タイガース ファームキャンプ場）場外特設スペースおよびWEBサイト

・回収方法

来場者に対してQRコードを活用したインターネット調査(スタンプラリー施策と同時実施)及びアンケート票への記述

・回収数

3,723サンプル

=注釈=

・10歳未満の回答者（9名）は経済効果の算出を目的とした本調査の対象となり難いため、サンプル数（n数）には含めない

・全体のパーセンテージは小数点第二での四捨五入とする

阪神うるまキャンプ来場者数一覧

2025年		スケジュール	来場者数
2/1	土	キャンブイン	574名
2/2	日		1,632名
2/3	月		966名
2/4	火		1,203名
2/5	水	オフ	
2/6	木		1,350名
2/7	金		1,730名
2/8	土		1,075名
2/9	日		1,556名
2/10	月	オフ	
2/11	火・祝		2,784名
2/12	水		1,959名
2/13	木		965名
2/14	金	オフ	
2/15	土		1,474名
2/16	日		933名
2/17	月		954名
2/18	火		795名
2/19	水	オフ	
2/20	木		298名
2/21	金		470名
2/22	土		1,373名
2/23	日		719名
2/24	月		784名
2/25	火	最終日	613名

◎合計来場者数

24,207名

（昨年：合計来場者数14,791名）

◎最多来場者数

2,784名（2/11）

（昨年：最多来場者数1,590名（2月4日））

◎平均来場者数

1,152名（昨年：平均来場者数643名）

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

アンケート調査項目一覧

▼ 基本情報

Q1 お住まいの地域

北海道
東北
関東
北信越
東海
関西
中国・四国
九州
沖縄

Q2 性別

男性
女性
回答しない

Q3 年代

10代
20代
30代
40代
50代
60代以上

Q4 職業

会社員/公務員
自営業・個人事業主
派遣・契約社員/パート・アルバイト
学生
無職
その他（ ）

▼ 宿泊費と交通手段

（沖縄滞在中の宿泊費と交通手段について）

Q5 本日は何名でお越しになりましたか

1名
2名
3名
4名
5名以上

Q6 宜野座村の阪神タイガース（一軍）キャンプは見に行きますか

見に行った
見に行く予定
見に行かない

Q7 宿泊地域

※選択肢にない地域は「その他」に記入してください

うるま市内
恩納村
那覇市
宿泊なし
その他（ ）

Q8 宿泊数

* Q7で「宿泊なし」を選択した方は回答不要

1泊
2泊
3泊
4泊以上

Q9 宿泊費（総額）

※複数日滞在の方は総額でお答えください
（例：1泊8,000円×2日＝16,000円）

* Q7で「宿泊なし」を選択した方は回答不要

0円
～5,000円
5,001円～10,000円
10,001円～15,000円
15,001円～20,000円
20,001円～30,000円
30,001円以上

Q 主な交通手段

10

自家用車
レンタカー
バス
タクシー
その他（ ）

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

アンケート調査項目一覧

▼ 飲食費（朝・昼・夕の飲食した（する予定の）地域と金額）

- Q 【朝食】 飲食した地域（予定も含む）
11 ※アンケート回答時点でご回答ください
うるま市内
うるま市外
- Q 【朝食】 飲食費（総額）
12 ※複数日滞在の方は総額でお答えください
（例：1食1,000円×2日=2,000円）
※ホテル代に含まれる場合は「1,001円～3,000円」を選択ください
0円（自宅含む）
～1,000円
1,001円～3,000円
3,001円～5,000円
5,001円～8,000円
8,001円以上
- Q 【昼食】 飲食した地域（予定も含む）
13 ※アンケート回答時点でご回答ください
うるま市内
うるま市外
- Q 【昼食】 飲食費（総額）
14 ※複数日滞在の方は総額でお答えください
（例：1食1,000円×2日=2,000円）
0円（自宅含む）
～1,000円
1,001円～3,000円
3,001円～5,000円
5,001円～8,000円
8,001円以上
- Q 【夕食】 飲食した地域（予定も含む）
15 ※アンケート回答時点でご回答ください
うるま市内
うるま市外
- Q 【夕食】 飲食費（総額）
16 ※複数日滞在の方は総額でお答えください
（例：1食1,000円×2日=2,000円）
※ホテル代に含まれる場合は「1,001円～3,000円」を選択ください
0円（自宅含む）
～1,000円
1,001円～3,000円
3,001円～5,000円
5,001円～8,000円
8,001円以上

▼ 土産品購入費（沖縄滞在のお土産品購入費とキャンプグッズの購入費）

- Q お土産の購入場所（予定も含む）
17
うるま市内
うるま市外
特に購入していない
- Q お土産の購入金額（予定も含む）
18 ※Q17で「特に購入していない」と回答した方は回答不要です
～1,000円
1,001円～3,000円
3,001円～5,000円
5,001円～8,000円
8,001円～10,000円
10,001円以上
- Q 阪神タイガーグッズは購入しますか（予定はありますか）
19
はい
いいえ
- Q 阪神タイガーグッズ購入にかかる費用（予算）
20
※Q19で「はい」と回答した方にお聞きます
※購入予定も含む総額をお答えください
～1,000円
1,001円～3,000円
3,001円～5,000円
5,001円～8,000円
8,001円～10,000円
10,001円以上
10,001円以上

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

アンケート調査項目一覧

▼ 娯楽費（キャンプ以外の娯楽費：観光・琉球ガラス作り・マリンスポーツなど）

Q キャンプ目的以外での主な娯楽の体験場所
21（予定も含む）

うるま市内

うるま市外

特になし

Q 娯楽費として費やしたもの（予定も含む）
22 ※Q21で「特になし」と回答した方は回答不要です

※選択肢にない場合は「その他」に記入してください

観光

体験（琉球ガラス作り、シーサー作りなど）

マリンスポーツ

その他（ ）

Q 娯楽費の消費金額

23 ※Q21で「特になし」と回答した方は回答不要です

※予定も含む総額をお答えください（土産品購入費は除きます）

0円

～1,000円

1,001円～3,000円

3,001円～5,000円

5,001円～8,000円

8,001円～10,000円

10,001円以上

▼ 出店（飲食販売等）事業者の利用

Q キャンプ会場で出店している飲食販売（キッチンカーなど）は利用されましたか

はい

いいえ

利用する予定

Q 上記で「いいえ」と回答された方にお聞きします。利用されなかった理由をお聞かせください

すでに飲食は済ませてきたから/購入してきたから

販売金額が高かったから

電子マネーが使えなかったから

購入したいと思うものが無かったから

会場に出店があることを知らなかった

その他（ ）

Q キャンプ会場でどんな出店や物品販売があれば購入したいですか

うるま市の特産品を使った商品

球団とのコラボ商品

沖縄料理（ご当地料理）のメニュー

お酒を楽しめるおつまみなどのセット販売商品

運転者でも楽しめるノンアルコールの充実

阪神タイガースの本拠地である、西宮市の特産品やお土産品

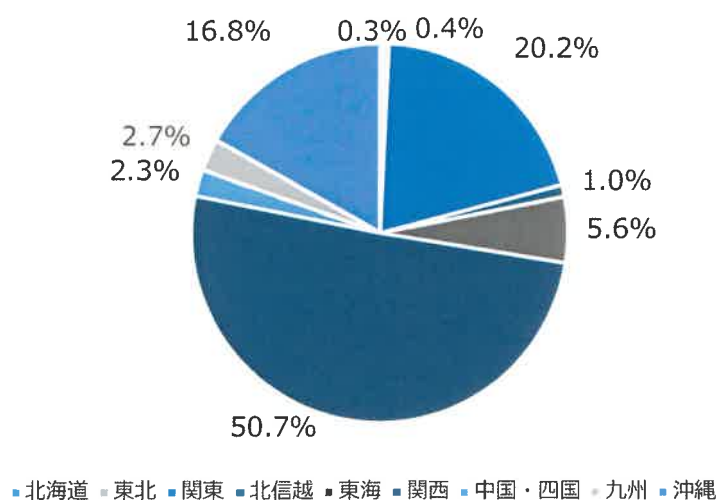
その他（ ）

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

②調査結果

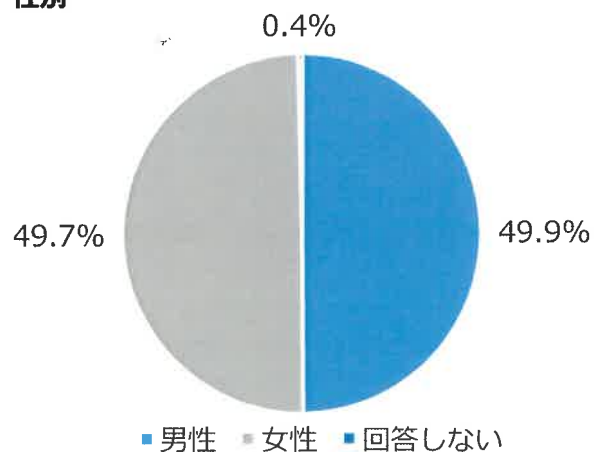
■ 回答者属性

お住まいの地域



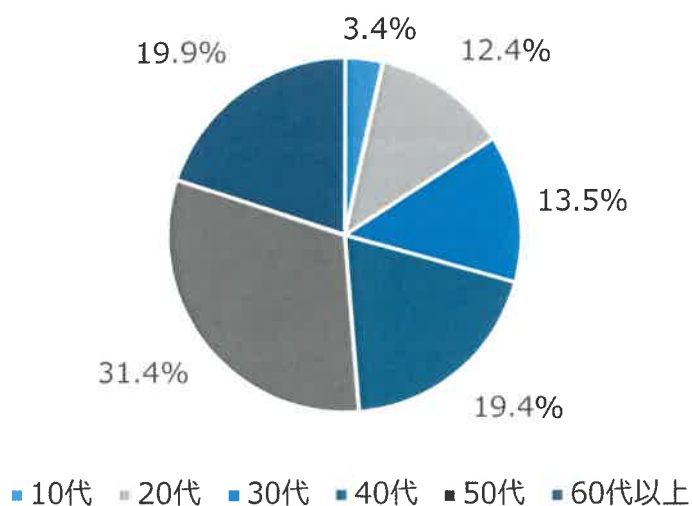
カテゴリ	件数	(全体)%
北海道	13	0.3
東北	15	0.4
関東	751	20.2
北信越	39	1
東海	208	5.6
関西	1,884	50.6
中国・四国	87	2.3
九州	101	2.7
沖縄	625	16.8
合計	3,723	100

性別



カテゴリ	件数	(全体)%
男性	1,858	49.9
女性	1,848	49.6
回答しない	17	0.4
合計	3,723	100

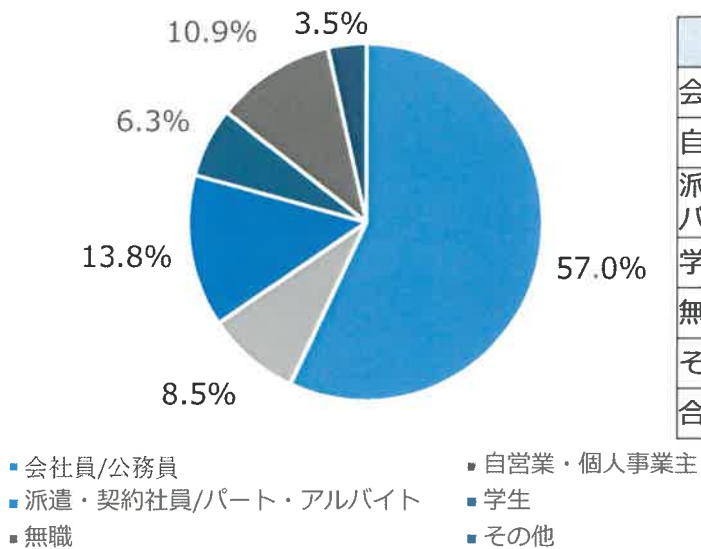
年代



カテゴリ	件数	(全体)%
10代	128	3.4
20代	461	12.4
30代	501	13.5
40代	722	19.4
50代	1,169	31.4
60代以上	742	19.9
合計	3,723	100

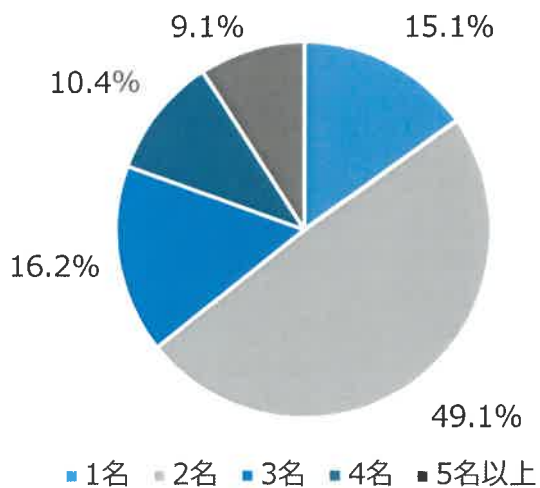
第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 回答者属性 職業



カテゴリ	件数	(全体)%
会社員/公務員	2,123	57
自営業・個人事業主	315	8.5
派遣・契約社員/パート・アルバイト	514	13.8
学生	236	6.3
無職	405	10.9
その他	130	3.5
合計	3,723	100

■ 本日は何名でお越しになりましたか？

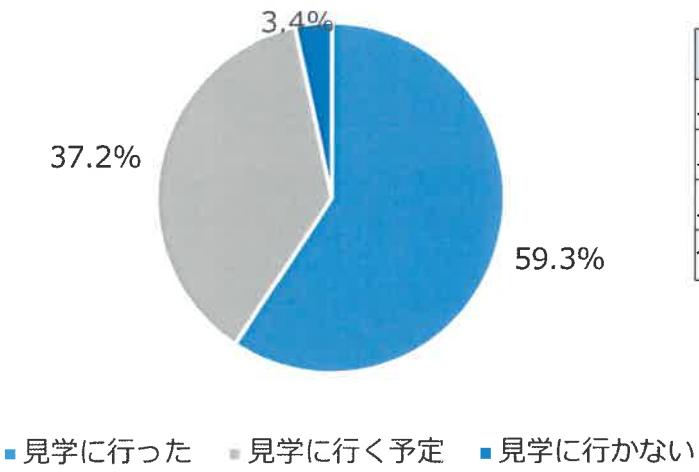


カテゴリ	件数	(全体)%
1名	564	15.1
2名	1,829	49.1
3名	604	16.2
4名	386	10.4
5名以上	340	9.1
合計	3,723	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 宜野座村の阪神タイガース(一軍)キャンプは見学に行きますか？ 単一回答

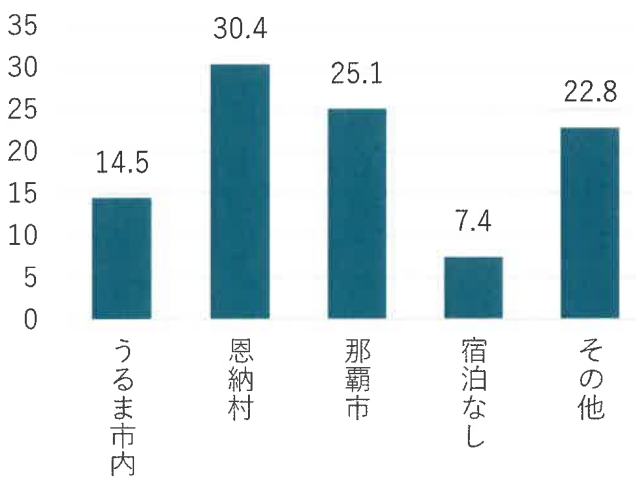
「見学に行った」が59.3%「見学に行く予定」37.2%。合わせると96.5%の全体の9割以上が行った、もしくは行く予定と回答



カテゴリー	件数	(全体)%
見学に行った	2,209	59.3
見学に行く予定	1,385	37.2
見学に行かない	128	3.4
合計	3,722	100

■ 今回の滞在で宿泊される地域を教えてください 複数回答

「恩納村」が一番多く30.4%、次に「那覇市」24.1%、「うるま市内」は14.5%。宿泊なしは7.4%だった。

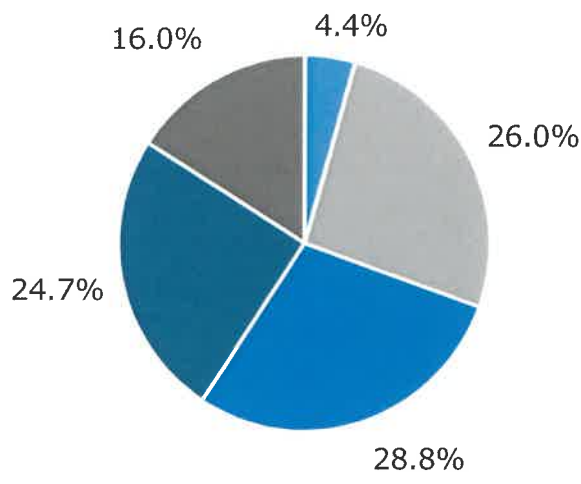


カテゴリー	件数	(全体)%
うるま市内	539	14.5
恩納村	1,130	30.4
那覇市	933	25.1
宿泊なし	276	7.4
その他	847	22.8
合計	3,723	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 今回の滞在の宿泊数を教えてください 単一回答

「3泊」が一番多く28.8%、つぎに「4泊以上」が24.7%、「2泊」が26.0パーセントとなった。
2泊以上の宿泊と回答した人が79.5%と全体の8割弱を占める。

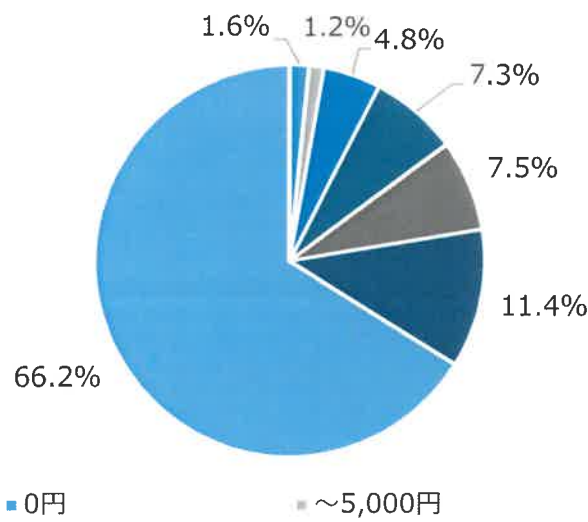


カテゴリ	件数	(全体)%
1泊	165	4.4
2泊	969	26
3泊	1,073	28.8
4泊以上	917	24.7
宿泊なし(沖縄県居住者含む)	596	16
合計	3,720	100

■ 1泊 ■ 2泊 ■ 3泊 ■ 4泊以上 ■ 宿泊なし(沖縄県居住者含む)

■ 今回の沖縄滞在の宿泊費の総額を教えてください 単一回答

宿泊費総額の一番多かった回答が「30,001円以上」で半数以上の66.2%を占めた。
次に多いのが「20,001円～30,000円」11.4%。20,001円以上が77.6%となった。



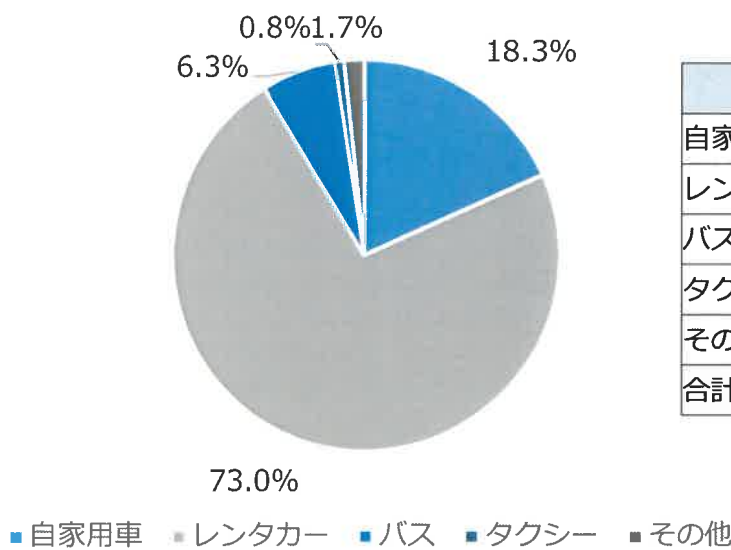
カテゴリ	件数	(全体)%
0円	50	1.6
～5,000円	39	1.2
5,001円～10,000円	150	4.8
10,001円～15,000円	227	7.3
15,001円～20,000円	235	7.5
20,001円～30,000円	356	11.4
30,001円以上	2,069	66.2
合計	3,126	100

■ 0円 ■ ～5,000円
■ 5,001円～10,000円 ■ 10,001円～15,000円
■ 15,001円～20,000円 ■ 20,001円～30,000円
■ 30,001円以上

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 移動の主な交通手段を教えてください 単一回答

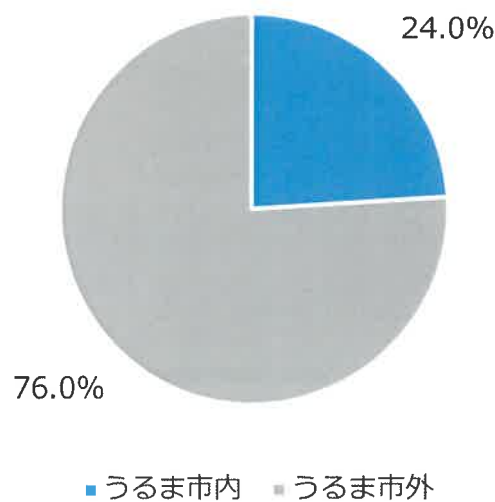
移動の交通手段は「レンタカー」が73.0%で一番多く、全体の7割以上を占めた。
次いで「自家用車」が18.3%。車を利用以外では1.7%である。



カテゴリ	件数	(全体)%
自家用車	680	18.3
レンタカー	2,717	73
バス	233	6.3
タクシー	28	0.8
その他	64	1.7
合計	3,722	100

■ 本日の【朝食】を飲食した地域を教えてください 単一回答

本日の朝食を飲食した地域は「うるま市外」が76.0%だった。



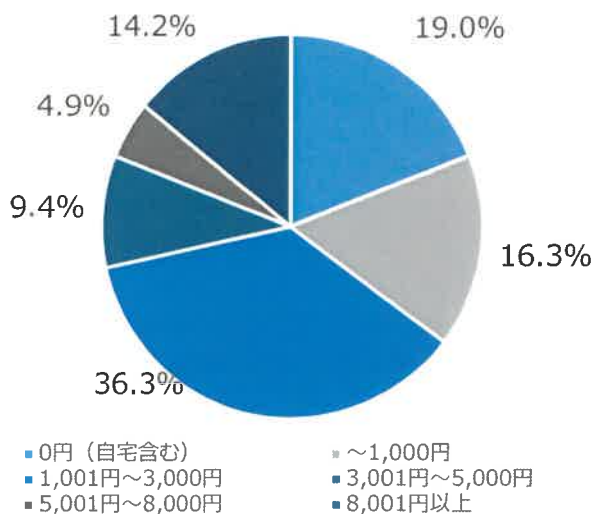
カテゴリ	件数	(全体)%
うるま市内	895	24
うるま市外	2,827	76
合計	3,722	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 今回の沖縄滞在中の【朝食】の飲食費総額を教えてください 単一回答

朝食の飲食費総額は「1,001円～3,000円」が一番多く36.3%であった。

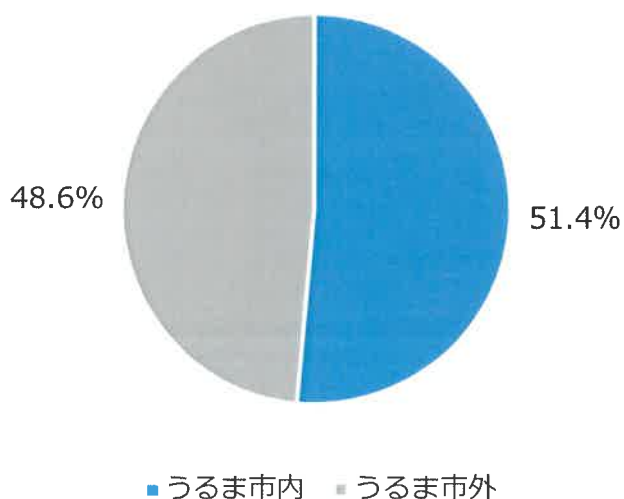
2番目に多いのが「～1,000円」が16.3%、つぎに「8,001円以上」が14.2%という結果となった。



カテゴリ	件数	(全体)%
0円（自宅含む）	707	19
～1,000円	605	16.3
1,001円～3,000円	1,353	36.3
3,001円～5,000円	350	9.4
5,001円～8,000円	181	4.9
8,001円以上	527	14.2
合計	3,723	100

■ 本日の【昼食】を飲食した地域 単一回答

昼食を飲食した地域は、うるま市内・市外での差はあまり見られなかった。「うるま市内」が市外と比べると2.8%多い結果となった。

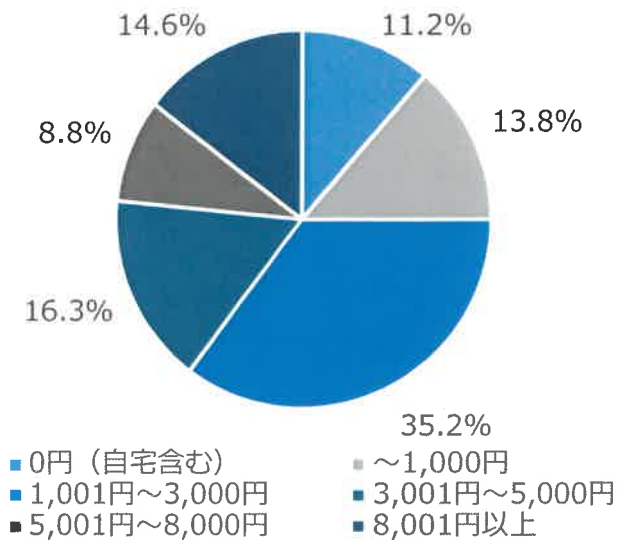


カテゴリ	件数	(全体)%
うるま市内	1,914	51.4
うるま市外	1,808	48.6
合計	3,722	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 今回の沖縄滞在中の【昼食】の飲食費総額を教えてください 単一回答

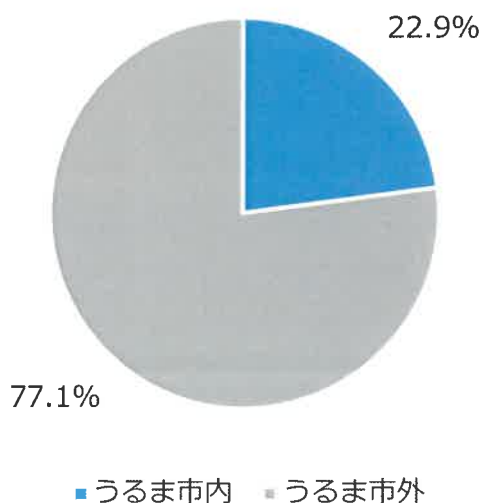
昼食での飲食費総額は「1,001円～3,000」が一番多く35.2%。つぎに「3,001円～5,000円」が16.3%と続く。「0円（自宅含む）」と回答した人が11.2%となった。



カテゴリ	件数	(全体)%
0円（自宅含む）	413	11.2
～1,000円	506	13.8
1,001円～3,000円	1,295	35.2
3,001円～5,000円	601	16.3
5,001円～8,000円	325	8.8
8,001円以上	536	14.6
合計	3,676	100

■ 本日の【夕食】を食べる予定（食べた）の地域を教えてください 単一回答

夕食を食べる予定（食べた）地域で、「うるま市内」は22.9%であった。うるま市外は、77.1%で2/3以上を占めた。

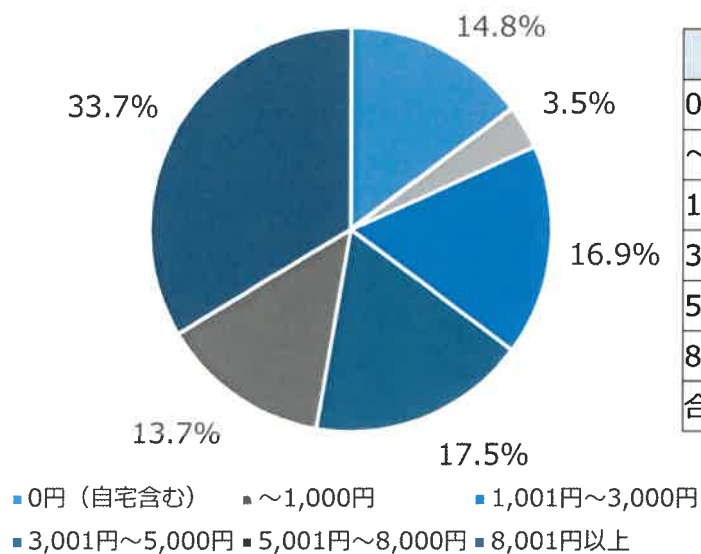


カテゴリ	件数	(全体)%
うるま市内	853	22.9
うるま市外	2,870	77.1
合計	3723	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 今回の沖縄滞在中の【夕食】の飲食費総額を教えてください 単一回答

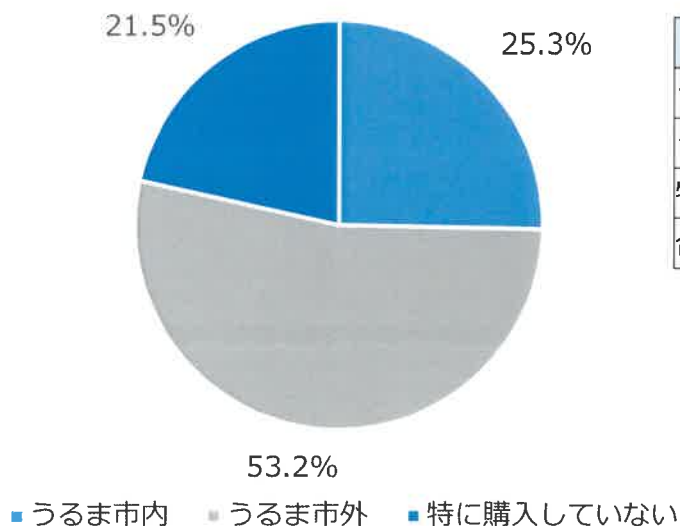
「8,001円以上」の回答が最も多く、33.7%であった。



カテゴリ	件数	(全体)%
0円（自宅含む）	551	14.8
～1,000円	130	3.5
1,001円～3,000円	628	16.9
3,001円～5,000円	652	17.5
5,001円～8,000円	509	13.7
8,001円以上	1,253	33.7
合計	3,723	100

■ お土産を購入した(する予定)場所を教えてください 単一回答

購入した（予定含む）が78.4%。「うるま市内」での購入（予定含む）が25.3%だった。



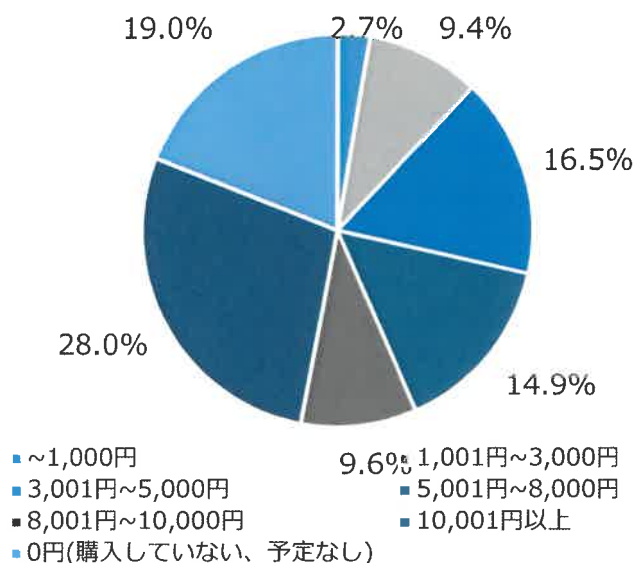
カテゴリ	件数	(全体)%
うるま市内	943	25.3
うるま市外	1,977	53.1
特に購入していない	801	21.5
合計	3,721	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ お土産の購入総額(予定も含む)を教えてください 単一回答

「10,001円以上」が一番多く28%、次に「0円（購入していない、予定なし）」が19%となった。

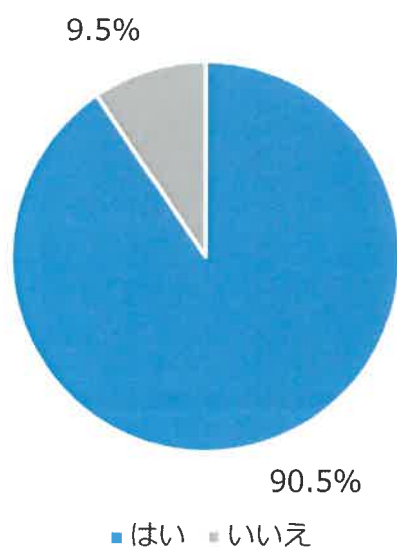
「5,001円以上」お土産の購入（予定を含む）と回答した人が52.5%で、全体の半数となった。



カテゴリ	件数	(全体)%
~1,000円	99	2.7
1,001円~3,000円	349	9.4
3,001円~5,000円	614	16.5
5,001円~8,000円	554	14.9
8,001円~10,000円	357	9.6
10,001円以上	1,042	28
0円(購入していない、予定なし)	708	19
合計	3,723	100

■ 阪神タイガースグッズは購入(予定含む)しますか 単一回答

阪神タイガースグッズを購入（予定含む）と回答した人が90.5%と多数を占めた。

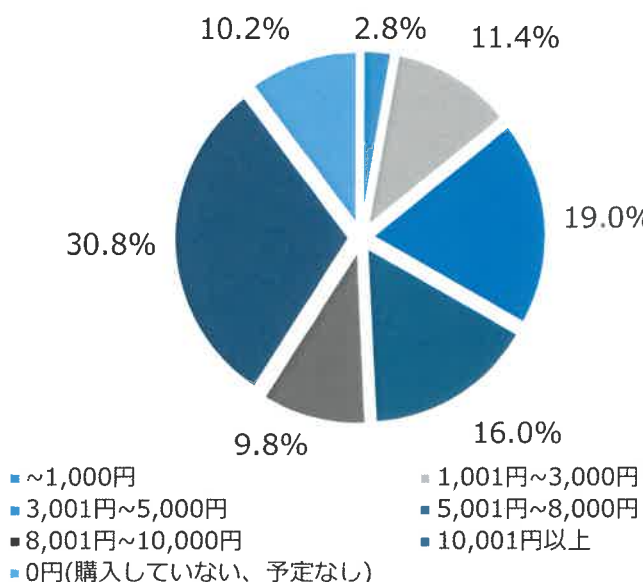


カテゴリ	件数	(全体)%
はい	3,369	90.5
いいえ	353	9.5
合計	3,722	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 今回の滞在で阪神タイガースグッズ購入にかけた費用、もしくは購入予算を教えてください 単一回答

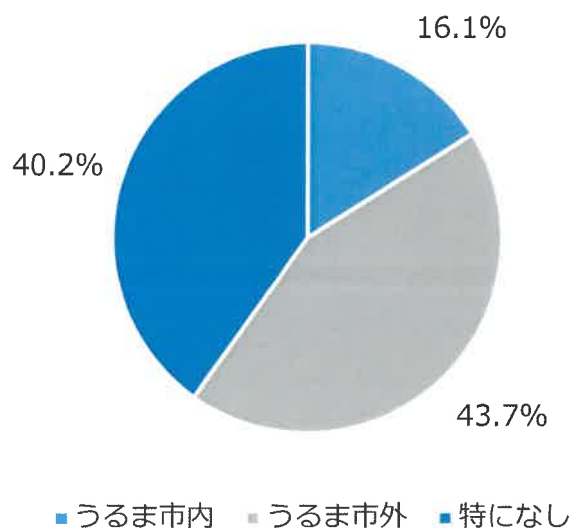
最も多かった回答が「10,001円以上」で30.8%。ついで「3,001円～5,000円」が19%。
5,001円以上の購入と回答したのが56.6%となった。



カテゴリ	件数	(全体)%
～1,000円	105	2.8
1,001円～3,000円	424	11.4
3,001円～5,000円	709	19
5,001円～8,000円	594	16
8,001円～10,000円	365	9.8
10,001円以上	1,145	30.8
0円(購入していない、予定なし)	381	10.2
合計	3,723	100

■ 今回の滞在でキャンプ見学以外での主なアクティビティや娯楽の体験場所(予定含む)を 教えてください 単一回答

キャンプ見学以外での主なアクティビティや娯楽の体験場所（予定含む）は、「うるま市外」一番多く
43.7%。体験なし（予定なし）が40.2%である。

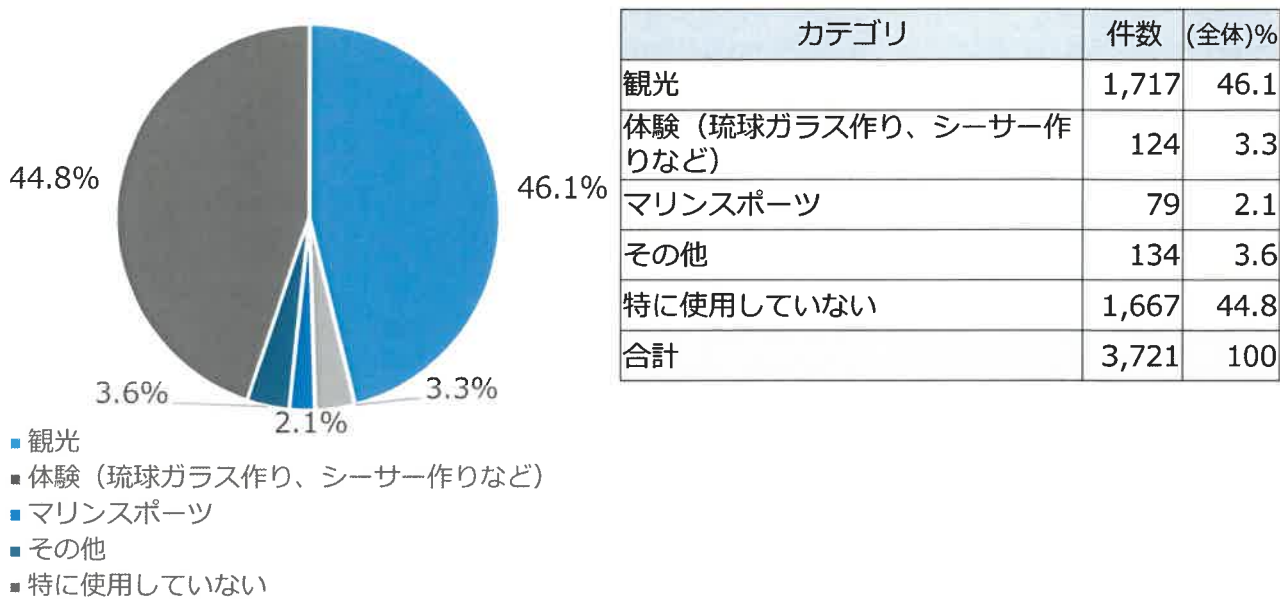


カテゴリ	件数	(全体)%
うるま市内	600	16.1
うるま市外	1,626	43.7
特になし	1,497	40.2
合計	3,723	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

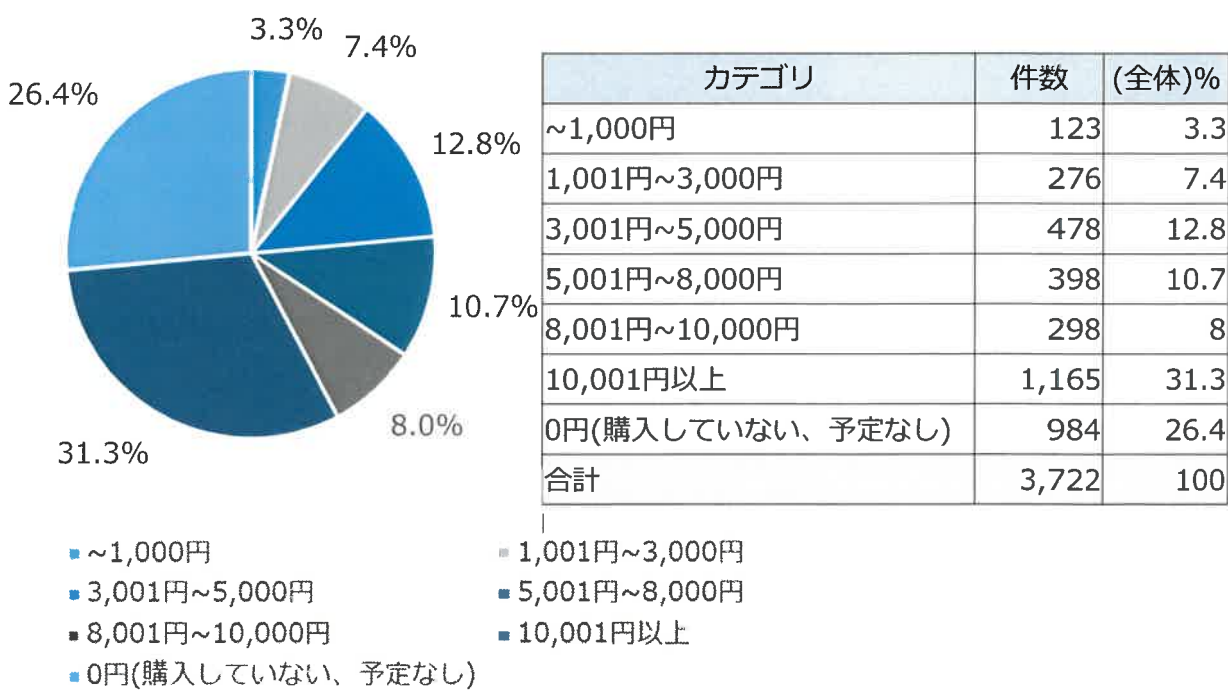
■ 今回の滞在で娯楽費として使用したものを教えてください(予定含む) 単一回答

娯楽費として使用したものは「観光」が一番多く46.1%。続いて「使用していない」が44.8%の結果となった。



■ 今回の滞在での娯楽費の消費金額(総額)を教えてください。 単一回答

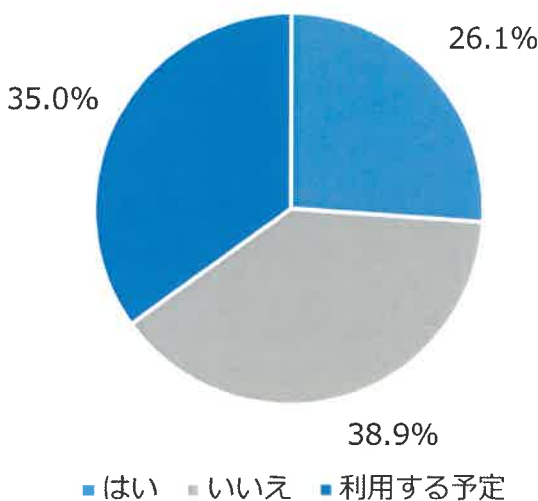
娯楽費の消費金額は「10,001円以上」が一番多く31.3%。
次に多かったのが「0円（購入していない、予定なし）」で26.4%となった。



第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ 具志川球場に出展している飲食販売は利用しましたか？ 単一回答

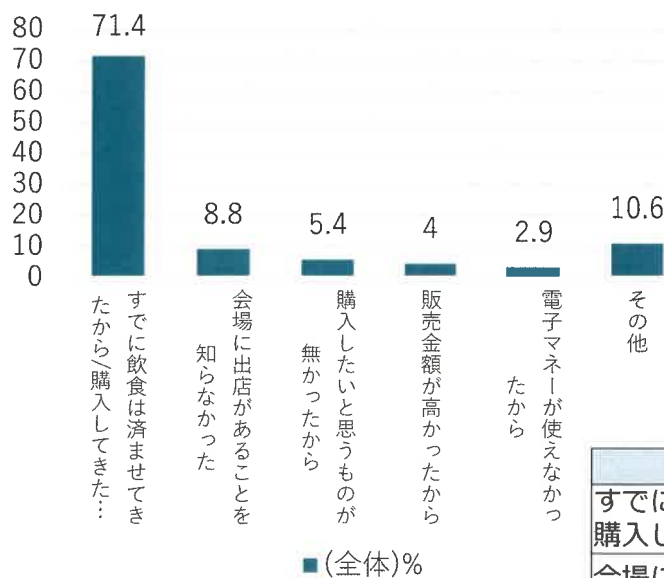
利用したと回答した人が26.1%。利用する予定が35%で、利用した、利用する予定の合算が61.1%となり、利用しない人の割合を上回った。



カテゴリ	件数	(全体)%
はい	972	26.1
いいえ	1,449	38.9
利用する予定	1,302	35
合計	3,723	100

■ 利用しなかった理由を教えてください 複数回答

利用しなかった理由で一番多かったのが「すでに飲食は済ませてきたから/購入してきたから」が71.4%。来場する時間帯によって利用の有無に開きが出る考えられる。



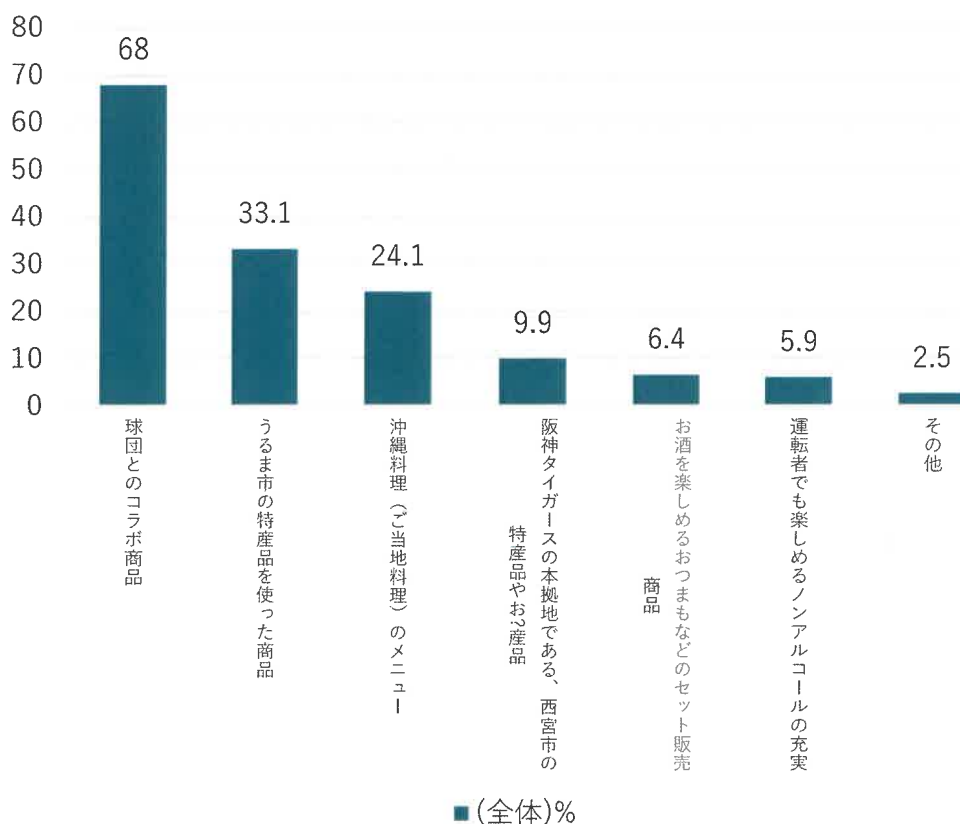
カテゴリ	件数	(全体)%
すでに飲食は済ませてきたから/購入してきたから	1,367	71.4
会場に出店があることを知らなかった	169	8.8
購入したいと思うものが無かったから	104	5.4
販売金額が高かったから	76	4
電子マネーが使えなかったから	55	2.9
その他	202	10.6
合計	3,723	100

第六章（２）阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査

■ キャンプ会場でそのような出店や物品販売があれば購入したいですか？複数回答

「球団とのコラボ商品」と回答した人が68%と半数以上を占める。

次に「うるま市の特産品を使った商品」33.1%、つぎに「沖縄料理（ご当地料理）のメニュー」24.1%と続き、地元や沖縄の特産品や名物を意識した商品やメニューを望む声が多かった。



カテゴリ	件数	(全体)%
球団とのコラボ商品	2,531	68
うるま市の特産品を使った商品	1,234	33.1
沖縄料理（ご当地料理）のメニュー	896	24.1
阪神タイガースの本拠地である、西宮市の特産品やお土産	367	9.9
お酒を楽しめるおつまみなどのセット販売商品	238	6.4
運転者でも楽しめるノンアルコールの充実	218	5.9
その他	94	2.5
合計	3,723	100

第七章 まとめ

第七章（１）事業総括

■各施策への成果と課題

◆成果

（１）スポーツ合宿等の誘致

合宿の継続的实施による定着化傾向

今年度のスポーツ合宿等の誘致件数は全体で15件。内訳は、プロチーム(自主練含む)8件、実業団・社会人チーム2件、学生団体5件となり、競技別では硬式野球が10件と最多であった。続いてサッカー3件、陸上競技1件、バドミントン1件という構成となった。

その中で陸上競技とバドミントンは、前年からの継続実施が確認され、合宿地としての定着傾向が強まりつつある。特に陸上競技のNTNは、昨年度から新たに合宿を開始したチームであり、うるま市における合宿の継続実施定着化が進んでいると考えられる。

HAMACHUを活用した合宿の実施

今年度は、神奈川大学サッカー部の合宿を誘致し、宿泊拠点として廃校を活用した「HAMACHU」を初めて利用した。これは、既存施設の有効活用という点でも意義深く、新たな宿泊候補地の開拓につながる実例となった。

これまで、合宿実施時期の温暖な気候はうるま市の利点である一方で、プロスポーツチームのキャンプ時期と重なることによって、宿泊先確保が困難になるという課題が表面化していた。更に、合宿実施側の予算の制約、受入施設側も受け入れ体制やノウハウのない施設も多く、宿泊先の選択肢が限定されるという問題があった。

HAMACHUでは、教室を活用した寝室・会議室・ランドリー・コワーキングスペースの併設など、合宿実施に必要な要素を一体的に備えた新しい形の宿泊・合宿活動の提供が可能であり、うるま市内の合宿受入施設の選択肢増加に寄与する新たな事例になったといえる。

多様な形の地域交流の実施

神奈川大学や北海道コンサドーレは地域交流の取り組みとして、地域の子供たちをはじめ、高齢者との交流機会や講演会を開催するなど様々な形での連携も実施された。普段接する機会のない他県の大学生や実業団チームとの交流や練習機会は、スポーツ合宿等を誘致する際の社会的・教育的効果のみならず、うるま市民への合宿受入効果還元のひとつの形だといえる。

これまでの合宿時の地域交流は、合宿実施チームが専門とする競技者のみを対象にしたクリニックや教室が主流を占めていた。しかし、今年度は、地域交流の対象者などを大きく広げた、多岐にわたる様々な形での地域交流が実施する事ができた。



第七章（1）事業総括

◆成果

（2）プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

阪神球団や石川みほそあきない組合など関係団体との関係構築

今回の施策実施に関しては、阪神タイガースの持つキャラクターや球団ロゴなどの活用が不可欠であった。球団とは企画の早い段階から密なコミュニケーションを取り、うるま市の企画を理解していただいた。その結果、球団の所有する様々なデザインの活用に加え、選手直筆サイングッズのプレゼントや球団公式サイトでのうるま市施策の紹介など、球団との関係を強固にすることにより、昨年までは実現できなかった企画を実現することができた。

また、阪神タイガース商店街企画を実施した石川地域においても、エリアの事業者をとりまとめている石川みほそあきない組合や石川社交飲食業組合の様々な協力を頂きながら施策を実施した。施策内容の検討や実施にあたっては綿密な打合せを進めたほか、実施段階においても事業者への声掛けやのぼり掲出などに協力頂き、円滑に行う事ができた。これらの取り組みにより、事業者が積極的に関わっていく機運と意識を創り出すことができたと感じている。石川地域の事業者からは、期間中に同エリアに来客や賑わい創出などの効果を感じる事ができたという声や、来期以降の継続を希望する声があがっている。

統一感やインパクトのある施策実施

今年度の周遊施策は、具志川球場と石川地域に集中してインパクトのある形で実施した。その結果石川エリアの通り沿いに統一のデザインのぼりを掲出し、広場には立ち寄りたくなるような目を引く巨大造作物を設置するなど、エリア(面)でのまとまりを出すことができ、印象に残る施策が実施できた。

これらの装飾物は、阪神ファンのみならず、石川地域を通過するキャンプ目的ではない県民や観光客の目にもとまり、うるま市や阪神キャンプのPRやにもつなげることができた。これらは、施策実施を石川地域一ヶ所に集約、集中させた成果だといえる。

スタンプラリー参加数の増加、周遊と回遊の実現

今年度実施したスタンプラリーは、前年度に比べて下記のような大きな変化があった。

- ・参加者数が、前年度513人から3,732人と、7.2倍に増加
- ・総スタンプ押印数が、前年度911件から4,130件と4.5倍に増加
- ・スタンプを3回以上押印した人数が、170人から343人と約2倍に増加

これらの参加者やスタンプ数増加の成果は、昨年度の実績を分析し、参加者数を増やすために次項に挙げる様々な改善を実施した結果であると考ええる。(次項に続く)

第七章（1）事業総括

◆成果

(2)プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

スタンプラリー参加数の増加、周遊と回遊の実現（つづき）

- ・スタンプラリーの実施工エリアを、具志川球場と石川地域内に限定
- ・参加者全員がもらえる参加賞(オリジナルステッカー)の設定と配布
- ・具志川野球場のスタンプポイントの設置
- ・具志川球場内にスタンプラリーカウンターを設置、有人で商品交換対応やラリー告知・案内を実施
- ・スタンプラリーでしか手に入らないオリジナル賞品の提供
- ・賞品が当たる抽選参加条件をスタンプ3個、5個収集と2段階に分けて設定。
- ・スタンプ3個までは無料でスタンプを獲得できる仕組みにし、それ以降は各事業者での購買や飲食をスタンプ獲得の条件とした。
- ・スタンプ5個の当選賞品の内容を選手サイン入りグッズなどより特別感のあるものにして、参加モチベーションを上げるようにした

更に、これらの改善により具志川球場→石川出張所までの移動が187回、石川出張所→ビジョン広場の地域内移動が239回、石川地域内の移動も見られるなど、ラリー参加者の具志川球場と石川地域間、および地域内での周遊と回遊も実現することができた。

球場内のスタンプラリーカウンターに常駐するスタッフが、直接の声掛けを行ったことも参加者増加の要因のひとつであったと考えられる。

(3)プロスポーツチームを対象とした歓迎セレモニー

円滑なセレモニー実施体制の構築

今年度のセレモニー実施にあたっては、阪神タイガースおよび栃木SCにおけるセレモニー担当者への早期の連絡に努めた。阪神タイガースとは9月に打ち合わせを実施し、12月までには概要を確定した。また栃木SCとも、新体制が固まった12月の時点で担当者顔合わせと打合せを実施。事前に先方の要望や懸念点を解消することができたためお互いが共通イメージを持ってセレモニーを実施することができた。事前打合せでは、より効率のよいセレモニー運営等に向けて提案やすり合わせを行う事ができ、セレモニーに反映できた点も有効であった。また、担当者と事前に顔を合わせて話をする事で、球団と良好な関係を築くきっかけとすることができた。

第七章（1）事業総括

◆成果

（3）プロスポーツチームを対象とした歓迎セレモニー

うるま市民にむけた機運醸成

今年度は、キャンプ受入れ側であるうるま市民への機運醸成とPRを目的として、うるま市役所市庁舎にて阪神タイガースうるまキャンプの告知装飾を実施した。市民が日常から多く集まり、うるま市としてのメッセージを市民に最も強く発信できる場所として、市役所を選定をした。他の市からの告知等でも実施されている懸垂幕掲出だけでなく、多数の来庁舎の目に留まり、思わず写真撮影をしたり知り合いに話をしたくなるような装飾を施し、カッティングシートなどを活用しメリハリをつけた様々な掲出を行った。その結果、多くの来庁者の目に留まり、なかには立ち止まって写真を撮る人の姿も見られるなど、阪神タイガースがうるまでキャンプをしていることを多くの市民に印象付け、PRをすることができた。

またキャンプ終了後には、選手直筆サイン入り絵馬を庁舎内にディスプレイ掲出した。こちらは、2025シーズン終了まで長期間掲出が可能であることから、キャンプ中だけでなく、シーズン中と通年で継続性のあるうるまキャンプのPRが可能となった。

うるま独自のキャンプ打ち出し

今年度から、うるま市での阪神タイガースキャンプ名称を「うる虎キャンプ」と定め、統一のオリジナルのキービジュアルを策定した。これらを一貫して造作物や装飾、広報露出物などに活用し、展開を図った。これにより、阪神タイガースうるまキャンプ全体に統一感が生まれ、宜野座キャンプとの差別化やうるま市キャンプの独自性の向上に貢献する事ができた。

また、キービジュアルには球団のマスコットなどは含まれないため、ユニフォームやマスコットなど球団のデザイン変更の影響を受けることなく、長期間使い続けることが可能であるそのため、次年度以降の造作物や装飾の製作コスト削減にもつなげることもできる。

WEBや印刷物等との連携による幅広いPR露出

今年度は、練習スケジュールや球場周辺情報、スタンプラリーなどのうるま市キャンプに関する情報を網羅し、具志川野球場を訪れた人が記念に持ち帰りたくなるようなA4二つ折りのパンフレットを新たに製作した。移動中や屋外において、携帯電話の画面ではなく目視ができる紙媒体からの情報は重宝したとの声もいただいた。更にスタンプラリーの参加店や詳細も掲載したため、キャンプ中の食事場所を探すガイドブック代わりに活用されるという効果も見られた。

また、ガイドブックの掲載内容や基本デザイン、スタンプラリーの参加画面は、WEBサイトのデザインと情報をアレンジしたものであるため、制作に手間や時間がかからず効率的なクリエイティブ制作を行う事が出来たとともに、利用者には統一感のある矛盾の無いイメージ展開が可能になった。このように一つの情報をWEBや紙媒体など多方面に展開をして形にすることで、より効率的、効果的にプロモーションを行うことができた。

第七章（１）事業総括

◆成果

（４）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

合同実施による課題共有と地域連携の深化

今年度は、本会議と運営会議の合同開催を実施。運営会議の参加メンバーである各種事業者が、現場における課題や創意工夫の取り組みを共有する機会を作ることができた。

さらに、周遊施策の対象地域を石川エリアに特化したことに伴い、当該地域での事業者を取りまとめる石川みほそあきない組合を協議会メンバーに加えた。組合からは、取組内容への地域事業者の反応や次年度に向けた施策提案が多数挙がるなど、地域全体で盛り上げていく意識が高まったことは成果のひとつと捉えられる。

また今回の合同開催では、多くの関係者が各自の立場から課題を持ち寄り、提案・意見交換を活発に行う姿勢が見られた。協議の場における信頼関係の深化や、課題解決に向けた前向きな雰囲気の醸成が確認され、今後の取組への広がりが期待される。

（５）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

来訪者アンケート回答の大幅増加

今年度は来訪者アンケートを、プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進の取り組みであるスタンプラリーと連携して実施をした。

スタンプラリーへの参加のためには、アンケートへの回答を必須とすることで、アンケート回収率とスタンプラリー参加率の相乗効果を狙った。その結果、昨年度の来場者数15,090名に対しての422名のアンケート回答数(回答率2.8%)が、今年度は24,207名に対して3,723名の回答数(回答率15.4%)を得ることができた。

回答にはスタンプラリーのQRコードを読み取り、WEB画面での回答をする手法としたが、通信がうまくつながらない方に向けたアンケート用紙への記入用紙も準備することで、着実にサンプル数を上げることにつなげることができた。

上記のようにアンケート実施方法を工夫する事で、昨年度の実績を数多く上回るサンプル数を得られたことから、次年度への施策提案・取り組みを検討するための来訪者の傾向などの基礎材料を着実に積み上げる事ができた。

第七章（１）事業総括

■各施策への成果と課題

◆課題

(1)合宿誘致

費用対効果と地域ならではの価値訴求の必要性

スポーツ合宿実施に関しては、練習施設の充実と確保、および利便性や対応の柔軟性の高い宿泊施設が条件となる。しかし今年度の誘致活動を通じて、実施に合宿実施における最大のボトルネックとなる点は、団体やチームの合宿実施予算が大きなウェイトを占めていた。実際に合宿実施に関する費用と予算が見合わないため、合宿実施を断念するチームもあった。合宿の費用を少しでも補填できるような施策実施や、練習効果だけでない合宿実施のメリットなどを訴求していく必要がある。

一方で、予算が充実しているチームの多くは、自チームに充実した練習拠点（専用施設等）保有をしていることが多く、わざわざ拠点以外でスポーツ合宿等を実施する明確なメリットを見いだせないことも見受けられた。これらのチームには、合宿実施によるチームPRやうるま市でしか得る事のできない副次的な効果等を提供できる連携内容を構築し、継続的な実施につなげる施策が求められてくる。

(2)プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

商店街コラボレーションや装飾の広がり

今年度の石川地域の商店街コラボレーション施策は、初の試みであった。手探りの実施であったため、協力先であるみほそあきない組合と、効果的な装飾方法や掲出場所、実施に関する実作業などのイメージを事前に十分共有することができなかった。施策の実施範囲や広がりという点で、地域内でも限定的なものになってしまった。

スタンプラリーの周遊率や回遊率と、使いやすさ

スタンプラリー参加者に関しては、今年度に大幅な増加がみられた。しかし、事業目的である、「具志川球場と石川地域への周遊・回遊」ということに関しては、課題が残った。参加登録もしくは、1回だけスタンプを押してラリーを止める人の割合も約88%と、昨年度と変わらず高い水準のままであった。

さらに、参加者の満足度やスタンプラリーの参加の満足度という点でも、スタンプラリーのルールや画面の使い勝手などで伝わりにくさ、分かりにくさなどがあった事があった事は否めない。次年度以降は細部を改善して、今年度参加者にリピートしてもらいつつ、さらに満足度を上げる工夫をしていく必要がある。

第七章（１）事業総括

◆課題

(3)プロスポーツチームを対象とした歓迎セレモニー

セレモニー等の業務・役割分担の明確化

今年度に関して、セレモニー実施にあたってチーム側との事前調整は確実にできたものの、うるま市側のセレモニー参加者の確定や、贈答品の依頼や確認など、運営側の内部で調整や時間を要してしまった。また対チームやセレモニー参加対象者にとって、うるま市側の誰が連絡窓口となるのかが分かりづらい状況があった。

具志川球場での装飾や機運醸成施策

具志川球場のスタンドに限定しての装飾やのぼり設置などを実施したが、球場エリアを見渡すと装飾や機運醸成のための余地がたくさんある。今後うるまキャンプの存在感を高め、来場者の満足度を向上させるためには、装飾場所の拡大や来場者目線での球場案内地図や喫煙所、観客導線などの案内の掲出た設置なども必要となる。

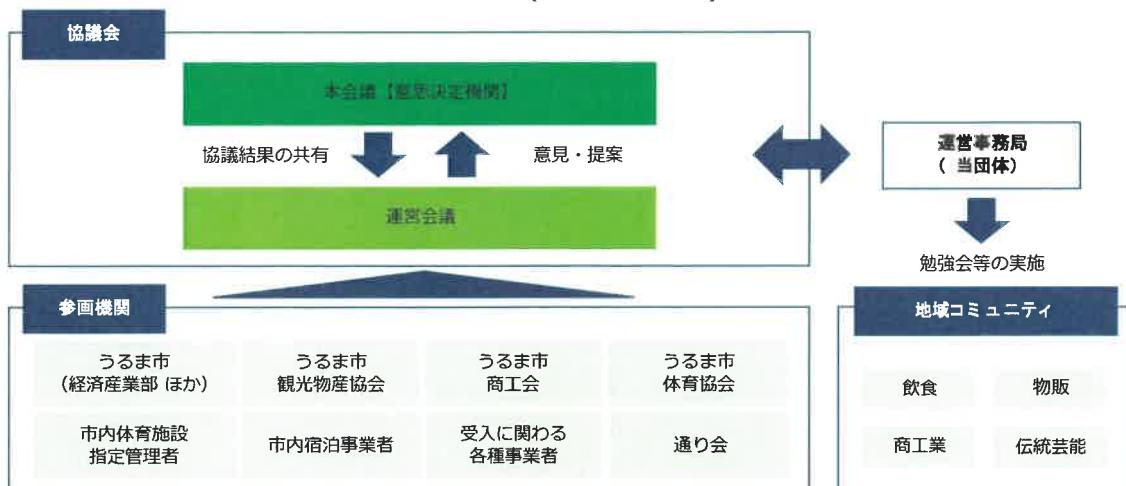
限定的な情報露出や拡散の創出

今年度は、歓迎セレモニーや機運醸成の装飾、造作物などのP露出が、キャンプ取材で現地を訪れたメディアの1次報道や、来場者のキャンプ期間限定での認識、SNS投稿などに留まってしまい、情報拡散の広がりを創りきることができなかった。

(4)協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

運営会議への参画者

今年度の協議会は、本会議と運営会議の合同実施も行いながら開催を実施した。運営会議の参加メンバーである各種事業者の現場での課題感や創意工夫の取り組みを共有する場を創出できたことは良かった。しかし一方で、運営会議に参画する市内事業者や受入に関わる各種事業者を、当初の構想のように拡大させることができなかった。（次項につづく）



※今年度の協議会・運営会議の体制想定図

第七章（1）事業総括

◆課題

運営会議への参画者（つづき）

事業者の意見総括として、運営会議への参加は地域コミュニティの代表（通り会など）を中心に参画を図っていくことが望まれるが、事業者ごとの括りとするか地区ごとで集約するか、本事業の趣旨目的を共通理解するための勉強会・コミュニティづくりには、施策の取り組み内容によっては工夫が必要である。

(5)スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

来場者アンケートの見直しと、現地対応人員の再考

今年度は、具志川球場での来場者アンケート回答において昨年度を上回るサンプル数獲得、成果をあげることができた。しかし一方で、アンケートの設問数の精査が改善の課題としてあげられる。データ取得のために必要な項目の設定で実施をしたところだが、特に年配の方は、回答に時間を要することや回答選択に迷うことが見受けられた。ある程度の傾向把握が得られたものは、今後、設問の見直しを図るなどの工夫をすることが必要であると考ええる。

また、今回は球場内にブースを設置し、アンケートへの参加をポスター掲示だけではなく声かけのでのアプローチも実施した。この声かけによって、現地でアンケート回答に進む方も多くみられた。よりスムーズなアンケートへの対応や更なる回答数増加につなげるためにも次年度以降は、来場者数に応じたブース対応の配置人数等の再考も必要だと考える。

第七章（２）次年度へむけて

■施設に頼らない合宿実施メリットを打ち出した、誘致方針・計画の策定

予算支援を必要とするチームには、最小限の予算支援による定着化が進められるよう自立支援も行なっていく必要があると考える。経済的効果への期待は難しいため、教育的・社会的な側面での地域貢献が拡充できる取組を進め、有料イベント等による収益モデルの構築や、定着化が進むと同時に他チームへの波及や大会・合同練習などの強化に期待を高めて、戦略的誘致を立てることが望ましい。

これらを踏まえ、アリーナの完成時期である令和10年までに、比較的スケジュール調整や検証等の協力が得られやすい、柔軟性のある大学・学生団体からはじめ、実業団や社会人チーム、そしてプロチームの誘致へと段階を踏み、受入体制を整備していくことが必要である。

■新体育館完成に向けた戦略的誘致ステップの策定

新体育館の完成を控えた現在、これまで進めてきた野球やサッカーといった屋外競技のプロチーム誘致に加えて、屋内競技へのアプローチを強化し、地域におけるスポーツ合宿の定着化を図ることが求められている。

今年度に設定した仮説および関係者へのヒアリングの結果、アリーナ完成前にプロチームを誘致することは、現時点では現実的に困難であることが明らかとなった。しかし、対象とするチームのカテゴリをプロチームなどのトップカテゴリーに限定せず、学生団体や実業団などへ広げることで、今後の可能性を見出すことができる考える。学生団体や実業団は、プロチームに比べてスケジュール調整の柔軟性が高く、必要条件のヒアリングや、社会的・教育的な観点から期待される効果との接点も見出しやすい。また、これらの団体との段階的な関係構築は、将来的なプロチーム誘致へとつながる基盤づくりにもなり得る。

一方で、誘致活動の初期段階では予算面での支援が前提となるケースもあり、これは今後の課題として捉える必要がある。したがって、アリーナ完成までの期間を単なる“待機期間”とするのではなく、「準備期間」と位置づけ、段階的かつ戦略的な誘致活動を進めることが重要である。

その際には、まず学生団体や実業団を中心に働きかけ、誘致実績と関係性の構築を積み重ねるとともに、将来的な合宿定着に向けては、宿泊・練習環境の充実や地域ならではの価値提供など、プラスアルファのメリットを提示できる施策の準備も並行して進めていく必要がある。

これらの取組を着実に積み重ねることで、アリーナ完成後の誘致活動の幅を広げ、地域におけるスポーツ合宿の定着と活性化につなげていきたい。

第七章（2）次年度へむけて

■継続性を意識した事業展開

今年度で3年目を迎えた阪神タイガースうるまキャンプは、運営や実施内容、関係各所との関係構築などに置いて基礎固めができ、事業に関わる人々の中である程度共通イメージを持つことができる段階になったと考える。

そのため次年度以降は、共通認識をもとに事業の大枠や段取り決定や話し合いの部分において早い動き出しが可能となり、より内容を充実させる取り組みができる。この時間的なメリットを十分に生かしなから、関連する組合や地域を巻き込んだ質の高い施策の実施、そして更なる先の年度へ、実施事項を継続させていく仕掛けや取り組みが必要だと考える。また、実施施策の市内の他地域への展開を図り、最終的には全域での実施に向けて計画を広げていくことも大切である。

■周遊施策の改善

参加数の増加等の結果をみても、今年度のスタンプラリーを活用した「狭く回遊をさせる」周遊施策は、次年度以降も有効であると考え。ただし、今後もスタンプラリー等を継続するのであれば、以下の点を改善していく必要があると考える。

1) 正確な参加予想

参加が当初見込みを大きく上回り、準備した参加賞の数が不足してしまった。今年度のキャンプ来場者などをもとに、より精度の高い計画を立てる必要がある。

2) スタンプラリーのルールや参加条件の表記変更

スタンプ〇個で抽選参加など、ルールがやや複雑であるため、参加者が誤解をもたないように、よりわかりやすく表記する。

3) 具志川球場のスタンプラリーカウンターの充実

今年度はスタンプラリーカウンターでのきめ細かい対人対応が、今回の参加者増加などに大きく寄与していた。次年度は、カウンターでの機能や役割強化することで更なるクオリティ向上が見込める。例えば、球場でのインフォメーション機能を持たせることで、具志川球場来場者の満足度向上も見込め、キャンプ地としての魅力も上げる事もできると考える。

4) 参加特典の見直し

スタンプラリーを単なるスタンプ収集で終わらせないように、一つ一つのスタンプを押した時点で特典が得られるなどの楽しみを増やす試みも必要だと考える。例えば、デジタル待ち受けなど物品の受け渡しが発生せずに、画面上で完結できる賞品なども検討の必要がある。

第七章（2）次年度へむけて

■周遊施策の周遊率・回遊率の向上

今年度の課題であった、具志川球場から他地域への移動者数を増やし、「2つ目のスタンプ押印することによる周遊」という流れをつくるためには、下記のような更なる改善が必要であると考える。

1) スタンプラリー参加店舗のバリエーション増加

今回のスタンプラリー参加店は、市内有数の飲食店街である石川地域の地域特性もあり、居酒屋など夜間のみ営業の店舗が多く、昼間から開店をしている店舗が少なかった。データからもスタンプ押印数の多い店舗は、昼間に営業をしている飲食店が上位を占めた。そのため昼間に営業をしている飲食店や商店の参加などバリエーションを増やすと更なる周遊を増やすことができると考える。

2) 参加する通り会、単独参加店舗の増加

今年度は石川地域のみでの実施となった。しかし市内消費拡大のためには施策を展開する通り会を増やすことが必要である。また、実際にキャンプ見学に多くの時間をかけたいファンの具志川球場周辺での食事のニーズが高いことから、グランド通り会をはじめ、グランド周辺の個別店舗のスタンプラリー参加などを促す事で、店舗消費増加とスタンプラリーによる球場周辺の周遊がうまれると考える。

3) 宜野座キャンプとの連携

うるまキャンプも3年目となり、ファンや来場者の間で宜野座と具志川球場を往来する流れが、定着をしてきた。宜野座と連携をして、うるま市のスタンプラリーや周遊施策を宜野座でも告知することで、具志川野球場に向かう途中で各スポットに立ち寄り、周遊をスタートしてもらう事ができる。石川地域は、宜野座と具志川野球場の中間点に位置するため、事前にスタンプを石川で集めてから具志川球場にてスタンプラリーの完結と賞品引換という流れも作ることができ、石川と具志川球場との周遊率向上に貢献できる。

4) 周遊地域に立ち寄りたくなる+αの施策

次年度は、スタンプラリーのスタンプを押すためだけではなく、スタンプ設置エリアに行きたくなるような工夫や施策が必要である。今年度のような、写真撮影したくなるようなフォトスポットは必須として、更なる工夫が必要である。例えば、ラリー参加で渡されるステッカーや絵馬にファンがメッセージを記入し、周遊地域に設置された造作物に掲出できる施策や、寄せ書きコーナーなど、後日球団にプレゼントする仕掛けも考えられる。参加者が何かの過程に参加し、最終的なアウトプットまでイメージできる施策を野球場と周遊地域にて作り出すことが必要であると考える。

第七章（２）次年度へむけて

■「経済波及効果」の定義や認識の共有

次年度以降、事業で求められている「経済波及効果」をもたらすためには、スタンプラリー参加店に具志川球場周辺飲食店舗を増やす事などを行えば効果的だと考える。しかし、行動範囲が球場周辺に限定されるため、市内周遊という形では成立が難しくなる。

この辺りの事業目的と施策の折り合いを矛盾なく、事業実施側が共通の考えを持って行っていく事が大切である。次年度以降は、市内の域内消費拡大や波及効果の範囲を「どこ」に「どのくらい」目標として設定するか等を、事前に共通認識として全員が持つてから施策の実施を進めるが重要である。

■セレモニーや機運醸成の目的の明確化

セレモニーや受入機運醸成を実施する対象は、チームであり市民である。しかし、これらの施策を実施した更なるその先に、何を目的とするのか？誰に何を伝えたいのか？その結果どのような効果を求めたいのか？などを改めて考え、目的を明確にする必要があると考える。

そして、施策実施の先に獲得できる可能性のあるメリットを市として突き詰めていくことが大切である。そうすることで、セレモニーの露出先や情報提供方法、機運醸成の方法などをより良く進歩させることができる。また、通年での機運醸成、うるま市の存在を伝えていく施策等も新たな視点や斬新なアイデアを導き出せると考える

■「うるまキャンプ」としての魅力向上への取り組み

今後、市の経済効果や域内消費を高めていくためには、具志川球場そのものにも効果を生み出す中心としての役割を持たせることが重要だと考える。「うるまキャンプ」としての魅力を最大化させて具志川野球場への集客を増やし、敷地内での飲食や購買消費を上げていくことが必要不可欠である。「阪神キャンプがあるから具志川球場に行く」という形から「具志川球場に阪神キャンプを見学に行く」という意識を持ってもらえるように施策を推進することが大切である。そのためには、下記のような施策をスタンド周辺だけでなく球場のある公園周辺全域で進める事が必要である。

- ・統一感ある装飾(うるま市を全面に打ち出した)や様々な造作物を球場敷地内全域に設置
- ・より魅力ある飲食店舗の出店(県外客が食べたいもの)
- ・具志川球場でしか購入できないオリジナルグッズ等のグッズや飲食の販売
- ・市のプロモーションと連動をした様々なイベントの実施
- ・全域地図や案内の表示
- ・具志川球場や阪神うるまキャンプ全体のインフォメーションカウンターなどの設置
- ・うるま市と阪神タイガースとのコラボ施策(イベントや選手との触れ合いイベント)
- ・宜野座キャンプと差別化を図ったポジショニングと打ち出し
(より選手が間近で見られる、選手と距離が近い)
- ・キャンプ全体の企画や装飾等の準備と、期間中のイベントやキャンプ運営の明確な役割分担

などである。また、その際には阪神球団とともに新しいキャンプ地像を作り上げていく形が望ましい。

第七章（2）次年度へむけて

■積極的な情報発信や発信方法の工夫

今後、うるま市キャンプの更なる露出や拡散などにつなげるためには、キャンプ実施前から市や観光物産協会等のWEBサイト、SNSなどオウンドメディアでの情報発信や告知、積極的なリリース発信などが必要だと考える。また、機運醸成の取り組みや装飾をより広く知ってもらうために、阪神選手の市庁舎表敬訪問や施策の関連場所でのイベント実施などこちらから取材機会やニュースを作り出す工夫、必ず報道映像や写真に写り込む位置でのインパクトのある装飾の実施など、費用をかけずに工夫を凝らした施策なども考えていく必要がある。

■宜野座キャンプとの連携

今後、阪神タイガースを使ったプロモーションを実施する上で、宜野座村との連携は欠かせない。そのため、宜野座村とのコラボレーションや告知、相互送客の仕組みを考えていく必要がある。今年から1軍ファームキャンプという概念が廃止されたこともあり、うるまキャンプとして独自の魅力や差別化を意識して「キャンプ地うるま」としての確固たる地位の確立を目指していく事が大切であるとする。そのうえで、宜野座村とは同じキャンプ地として、協力をしながら、阪神タイガースのキャンプ地として各拠点が点ではなく面として、より集客を図れる体制を構築するべきだと考える。

■協議会をつうじた地域コミュニティづくり

施策と連動した地域コミュニティづくりの機会の確保をすることが必要である。今回の事業においては、周遊戦略として石川地域へ対象を絞ったため、エリア事業者をとりまとめている石川みほそあきない組合や石川社交飲食業組合との協力体制を構築する事ができた。今後、地域ごとのエリア拡充を図っていく際に、エリアを取りまとめている団体へのアプローチを行い、協議会内にてその地域でのコミュニティ形成及び施策内容の取り組みに関する意見交換と実装するための具体的計画の発信・共有を図る体制構築を進めていく必要がある。